

第73回全国高等学校PTA連合会大会

茨城大会

大会
要項



日程 2024年8月22日(木)・23日(金)

主催：一般社団法人全国高等学校PTA連合会 主管：茨城県高等学校PTA連合会



歴史の町で変革を!!
く新たな時代が目に入らぬか

目次

茨城県の歴史	2
茨城県の観光	4
茨城県の伝統	8
茨城県の農林水産物	10
ポスター・シンボルマークの紹介	12

大会概要

ご挨拶	14
歓迎のことば	15
大会概要・大会日程	16
オンライン参加について	18
会場へのアクセス	19
分科会（全体会）会場へのアクセス	20
大会役員・実行委員会役員名簿	22

分科会

第1分科会	24
第2分科会	25
第3分科会	26
第4分科会	27
第5分科会	28



全体会

式次第	30
令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰被表彰団体一覧	31
第73回全国大会会長表彰個人名簿	32
第73回全国大会会長表彰団体名簿	33
第73回役員等表彰者個人名簿・特別感謝状	34

記念講演

記念講演	35
------	----

アトラクション

第1分科会	38
第2分科会	39
第3分科会	40
第4分科会	41
第5分科会	42
全体会	43

資料

一般社団法人全国高等学校PTA連合会	
歴代会長名	46
年次別全国大会一覧	47
令和6年度一般社団法人全国高等学校PTA連合会	
役員名簿	52
令和6年度一般社団法人全国高等学校PTA連合会	
委員会名簿	53
令和6年度一般社団法人全国高等学校PTA連合会	
都道府県市高等学校PTA連合会一覧	54
令和5年度第72回全国高等学校PTA連合会大会	
2023宮城大会決算報告書	58

協賛企業

ご協賛企業・団体様一覧	60
-------------	----

茨城県の歴史

情報提供：茨城県立歴史館

～歴史と文化が織りなすいばらき物語～



弘道館正庁（水戸市）「写真・弘道館提供」

太平洋に面した茨城県は、南に霞ヶ浦が広がり、平野部を那珂川や鬼怒川の河川が流れ、豊富な水資源に支えられ、古くから多くの人々が生活し交流の場となっていました。縄文時代には霞ヶ浦周辺に多くの貝塚が形成され、古墳時代には東日本を代表する巨大古墳が作られるなど、当時の繁栄ぶりがうかがえます。また、奈良時代に編さんされた『常陸国風土記』にも、当地は「常世の国（とこよのくに）」のようだと記されており、恵まれた環境であったことが記録からも読み取れます。

茨城県が誕生したのは明治4年（1871）で、同時に現・茨城県域には新治県と印旛県も誕生しました。その後の統廃合によって、明治8年、ほぼ現在の県域をもつ新しい茨城県が誕生しました。

常陸国風土記と巨人伝説

風土記は、和銅6年（713）に朝廷が諸国に対して編さんを命じた地誌で、今日では常陸国を含めて5ヶ国しか現存しておらず、大変貴重な史料といえます。常陸国風土記には、常陸国内のさまざまな産物・山川原野の由来・伝承などが記されています。とりわけ、だいだらぼうという巨人が、大櫛の岡（現在の水戸市塩崎町付近）から海辺まで手を伸ばして貝を食べ、その貝殻が積もって丘（貝塚）となったという伝説が記されており、書物に記された日本最古の貝塚として国の史跡に指定されています。これが大串貝塚で、現在は「大串貝塚ふれあい公園」となって、大きなだいだらぼうの像が我々を迎えてくれます。



大串貝塚ふれあい公園（水戸市）

戦国大名 佐竹氏

佐竹氏は、源義家の弟である新羅三郎義光の流れをくむ清和源氏の名門です。鎌倉時代には源頼朝に敵対したことで逼塞を余儀なくされますが、室町時代には足利尊氏に味方して常陸国守護職を獲得します。戦国時代には北関東の領主たちの盟主として、北の伊達氏、南の北条氏と争いながら勢力の拡大に努めました。天正18年（1590）には、豊臣秀吉による小田原攻めに参陣し、54万5800石の領土を安堵されました。これは諸大名の中で8位の石高であり、屈指の有力大名となりました。しかし、それも長くは続かず、慶長5年（1600）の関ヶ原の戦いで曖昧な態度を取ったため、秋田20万5800石へ減封となりました。常陸太田市など県北地域では、今も佐竹氏の足跡をたどることができます。

佐竹義重所用黒塗組系威具足
(秋田市立佐竹史料館蔵)



学は水戸にあり

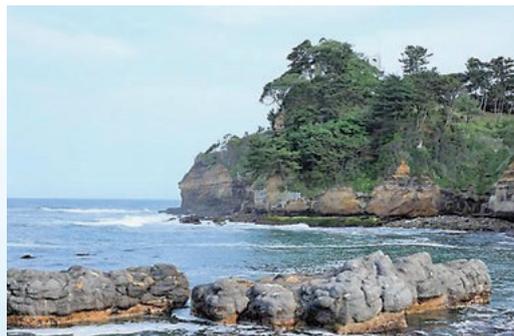
江戸時代、関東で最大の領地を誇った藩が水戸藩（35万石）です。水戸は、江戸幕府の開祖徳川家康の血筋をくむ御三家の城下町として発展しました。「水戸黄門」で名高い2代藩主光圀は、『大日本史』の編さんをはじめとする文化事業を大規模に展開し、わが国の学問の振興にも大きな役割を果たしました。水戸の地は学問の府として全国に知られるようになり、のちに吉田松陰や西郷隆盛ら多くの幕末の志士の思想と行動に大きな影響をあたえました。幕末の9代藩主斉昭は、藩校弘道館を開設し、梅の名所で知られる偕楽園を庶民に開放し、さまざまな藩政改革をすすめました。近世から近代への過渡期にあたり、外交政策など幕政にも大きな発言権を維持しつづけました。斉昭の7男慶喜は、幼少期から英明との評判が高く、のちに幕府15代将軍となりました。海外への視線を持ち、豊かな時局認識に裏付けられた慶喜の「大政奉還」の決断は、わが国の近代国家への扉を大きく開くことになったのです。



大日本史（茨城県立歴史館蔵）

文化人たちの足跡

江戸時代の後半は、学問や文化が地方にまで広がりを見せ、学芸の交流が一段と活発化しました。現在の茨城県域においても、諸分野ですばらしい成果を残す人材が輩出しています。わが国初の経緯線が入った絵図を創作し、全国を風靡した長久保赤水。多くの外科手術で新技術を開拓した本間玄調。蝦夷地（現・北海道）



五浦海岸（北茨城市）

の測量や樺太探検で活躍し、「間宮海峡」にその名を残す間宮林蔵。明治期以降にも目を向けてみましょう。歌人として活躍し、小説『土』で農村社会の問題点を描いた長塚節。「赤い靴」「七つの子」などの童謡や民謡で親しまれる野口雨情。美術の世界では、岡倉天心ひきいる日本美術院の景勝地五浦海岸への移転に伴い、横山大観・菱田春草らの画家がこの地に居住し、日本画の近代化に一石を投じた点も見逃せません。音楽の世界では、「いつでも夢を」「潮来笠」など昭和歌謡に名曲を残し、国民栄誉賞を受賞した吉田正らが出ています。

茨城県の観光

情報提供：茨城県営業戦略部観光誘客課

～県央エリア～



国営ひたち海浜公園

GWに見頃を迎えるネモフィラで有名な「みはらしの丘」では、夏になるとふわふわとした緑葉のコキアが、秋には紅葉し、丘一面を真っ赤に染め上げます。そのほかにも、茨城県花のバラが年二回咲き誇るなど、一年を通して様々な種類の花を楽しむことができる「花の楽園」です。また、園内をめぐるシーサイドトレインやサイクリング、遊園地エリアのプレジャーガーデンも幅広い世代に人気です。

アクアワールド茨城県大洗水族館

日本一のサメの飼育数を誇り、マンボウなど約580種68,000点の世界の海の生物に出会うことができる国内トップクラス規模の水族館です。毎日開催される「イルカ・アシカオーシャンライブ」は大人気。バックに大洗の海を望めるホールで、ユーモラスなアシカやダイナミックなイルカの演技が繰り広げられます。



那珂湊おさかな市場

その日の朝に水揚げされた新鮮な魚介類をリーズナブルな価格で販売する量販店街として人気があり、関東を代表する観光市場として県内外から毎年100万人以上が訪れています。また、旬の海鮮料理や、大きく新鮮なネタが自慢の回転すしなど、港町ならではのお食事処も多数軒を連ねています。

偕楽園・弘道館

日本三名園のひとつに数えられる梅の名所、偕楽園。約100品種、3,000本の梅が植えられており、早咲き・中咲き・遅咲きと、長い期間に渡って観梅を楽しめるのが特徴です。例年2月中旬から3月中旬にかけて開催される「水戸の梅まつり」は、多くの観光客で賑わいます。弘道館とともに、「日本遺産」に認定されています。





大洗磯前神社

険かな岩礁に立てられた石の鳥居は「神磯の鳥居」と呼ばれ、大洗を象徴する名勝の代表的風景として、現在では日本の聖地として紹介されるようになりました。

神磯の鳥居は神が降り立ったといわれる地でもあり、鳥居から昇る日の出を拝もうと大勢の人が訪れる絶景スポットです。



笠間稲荷神社

日本三大稲荷のひとつ、笠間稲荷神社。御祭神は「宇迦之御魂神」で、あらゆる殖産興業の守護神として、また、火防の神様でもあります。付近にある道の駅かさまでは、笠間の名産品「栗」を使用したモンブランを味わうことができます。

～県北エリア～



袋田の滝・月待の滝

日本三名瀑に数えられ、高さ120メートル、幅73メートルの大きさを誇る「袋田の滝」。同じく水辺のパワースポットとして人気の「月待の滝」では、滝の裏側に入ることができ、別名「裏見の滝」「くぐりの滝」とも言われています。

竜神大吊橋

国内最大級の長さを誇り、橋の上からは四季折々のパノラマが広がります。ダム湖面高さ100mからのスリル満点バンジージャンプや、竜神峡でのカヌー体験を楽しむことができます。4月下旬から5月中旬ごろには「鯉のぼりまつり」が開催され、約1,000匹の鯉のぼりが空中を泳ぐ姿は圧巻です。



～鹿行エリア～



鹿島神宮

古文書では神武天皇元年（紀元前660年）の創建と伝えられている鹿島神宮。近代まで「神宮」と呼ばれていたのは、伊勢神宮、香取神宮、そして鹿島神宮の三社のみで、由緒と歴史の長さでは別格の存在。日本全国に約600社ある鹿島神社の総本社です。祭神は武甕槌大神（たけみかづちのおおかみ）で、武の神として古くから勝負ごとにご利益があると伝えられています。

なめがたファーマーズヴィレッジ

やきいもの歴史や魅力を楽しく学べる「やきいもファクトリーミュージアム」や農業大国ならではの自慢の野菜や地元の名産品が並ぶ「ファーマーズマルシェ」など、学んで、育てて、食べて、自然をいっぱい感じる農と食の体験型テーマパークです。



～県南エリア～



JAXA 筑波宇宙センター

多くの研究機関が集積する筑波研究学園都市。JAXA 筑波宇宙センターは、宇宙開発の重要拠点として最新の試験設備を備えた総合的な事業所です。また、つくばサイエンスツアーを利用して、約50の研究教育機関等の中から団体向けの見学ツアーに参加することもできます。

※要事前予約



牛久大仏

ギネス世界記録に認定された、世界最大120mの青銅製大仏。地上85mの展望台にはエレベーターで昇ることができ、スカイツリーや富士山を見渡すことができます。また、大仏の胎内空間では写経体験やパネルの展示も行われています。

～県西エリア～



ザ・ヒロサワシティ

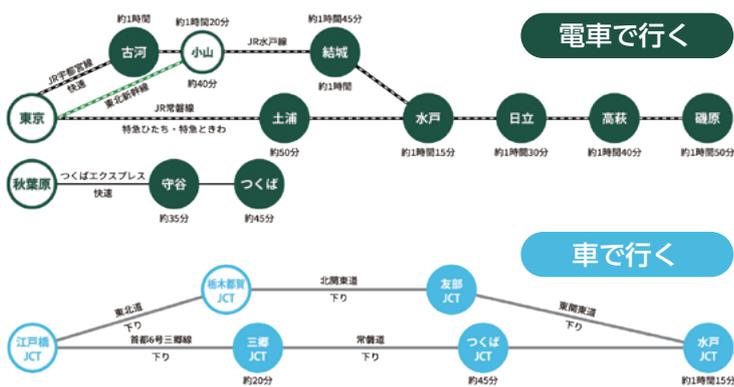
広大な敷地に、陸・海・空・宇宙の乗り物が勢揃いしたテーマパーク。博物館には、クラシックカーや航空機、ロケットなどお子様から大人まで幅広い世代で楽しめる迫力満点な展示物がたくさん。雨の日でも濡れる心配なく一日中楽しめます。

道の駅常総

2023年4月にオープンした県内16番目の道の駅。“食・農・楽”がテーマの新たな市の玄関口として、常陸牛・つくば鶏・メロンなど、当駅でしか買えない名産グルメ&スイーツやオリジナル土産品を約1,500点展開しています。



～アクセス～



茨城県の観光・イベント情報はこちら

◎観光いばらきホームページ

<https://www.ibarakiguide.jp/>



◎観光いばらき公式 X

https://twitter.com/kanko_ibaraki



まつり

「伝える、結ぶ、広がる“茨城のおまつり”」

日立さくらまつり

県内屈指の桜の名所である日立市で毎年4月上旬に行われる春の風物詩です。「日本さくら名所100選」に選ばれている平和通りでは、国の重要無形民俗文化財で、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「日立風流物」や、県指定無形民俗文化財の「日立のささら」が公開され、多くの人で賑わいます。水戸藩2代藩主徳川光圀の命によりはじまった「日立風流物」は、高さは15mの壮大な山車に5層構造の屋形を乗せ、人形芝居が演じられます。

日立風流物「国指定重要無形民俗文化財」
「ユネスコ無形文化遺産」



ひたちおおつ おふねまつり 常陸大津の御船祭

太平洋に臨む北茨城市の佐波波地祇（さわわちぎ）神社で5年に1度行われる春の大祭です。神輿を乗せた神船と呼ばれる漁船を、陸上で人力により曳き回す、全国に類例のないもので、国の重要無形民俗文化財に指定されています。船には車輪がなく、ソロバンと呼ばれる木枠を敷き、その上を滑るように船が曳かれたり、船の両脇に陣取る多くの曳き手によって船が大きく揺らされたりしながら、御船唄やお囃子に合わせて街中を進んでいく、大変勇壮なお祭りです。

常陸大津の御船祭「国指定重要無形民俗文化財」、
「記録等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」（国選択）

石岡のおまつり

関東三大祭りの一つと言われる石岡のおまつり（常陸國總社宮例大祭）は、旧常陸國の国府が置かれた石岡市で毎年9月に開催されます。期間中は50万人以上の見物客が訪れます。小屋をつけた車輪付きの大型の幌獅子が32台、山車は14台が町中を練り歩き、県指定無形民俗文化財の「石岡ばやし」や「富田のささら」が披露される、見どころの多い活気あふれるおまつりです。

石岡ばやし「県指定無形民俗文化財」



いたこぎ おんさいれい
潮来祇園祭禮



全国第2位の面積を有する霞ヶ浦に臨む水郷のまち潮来市で、毎年8月に開催される素鷲熊野（そぐくまの）神社の例大祭です。元禄年間に徳川光圀の命で同神社が遷宮され、山車が供奉されたことが由来です。祭りに花を添えるのは、勇壮な礼舞を演じる獅子舞や、総数14台もの大型の山車、そしてこの山車に乗った芸座連（げざれん）によって奏でられる県指定無形民俗文化財の「潮来ばやし」です。お囃子に合わせて山車を曳く「曲曳き」が圧巻で、中でも、静止した山車を人力で回転させる「の字廻し」は必見です。

潮来ばやし「県指定無形民俗文化財」

はっさく
みなと八朔まつり

県内屈指の漁港や海水浴場を有するひたちなか市で8月に行われる那珂湊天満宮の祭禮で、現在は2年に1度行われます。国の無形の民俗文化財に選択されている「獅子」と「みろく」の人形踊りが披露されます。子・雌・雄の3体の獅子は、囃子に合わせて勇壮、優美に、白・青・赤の三神のみろくは、滑稽に演じられます。神輿を海に担ぎ入れる「浜降り」は見ごたえがあり、海中で神輿を荒々しく揉み合います。



那珂湊の獅子（左）とみろく（右）
「記録等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」（国選択）

工芸品

ゆうきつむぎ
結城紬



結城紬は日本最古の歴史を有する高級絹織物です。全工程が手作業で行われ、その中でも糸つむぎ・拵くり・地機織りの3工程は1956年に「国指定重要無形文化財」に、1977年に「伝統的工芸品」に指定され、2010年には「ユネスコ無形文化遺産」に登録され、日本が世界に誇る工芸技術となりました。結城紬には真綿から指で紡ぎ出した撚りのない糸をそのまま使う平織と、糸に強い撚りを加え、縮んで表面がちりめん状になる縮織があり、平織が国指定重要無形文化財に、縮織が県指定無形文化財に指定されています。



茨城県の農林水産物

情報提供：茨城県営業戦略部販売戦略課

茨城県は温暖な気候と豊かな自然に恵まれており、令和4年の農業産出額は全国第3位・海面漁獲量は全国第2位という農林水産大県です。メロンや栗、いわしなど全国1位の品目が15品目あり、関東屈指の酒蔵数を有する酒どころでもある茨城はまさに食の宝庫。

県では、県産農林水産物のブランド確立に向けて、積極的なPRを行っており、中でも他県産との差別化が図れ、シェフ等により食味が評価されている5品目（県オリジナル品種のメロン「イバラキング」と梨「恵水」、県産の栗、県を代表する銘柄牛「常陸牛」、銘柄豚肉の「常陸の輝き」）を重点品目として位置づけ、話題性のある取組や高級店・百貨店等への営業活動に力を入れて取り組んでいます。

また、「常陸牛」や「常陸の輝き」のほか「ひたちのくに常陸国ブランド」として、「常陸国天然まがも」や「常陸乃国いせ海老」、「常陸秋そば」も好評をいただいています。



▶ 茨城をたべようポータルサイトをチェック！

イバラキング ～上品な香りと味「王様級」～



旬の時期：5月上旬～6月中旬

【特長】

- メロン生産量が25年連続全国第一位を誇る茨城県が、10年以上の歳月をかけて開発したオリジナル品種で、「茨城（イバラキ）のメロンの王様（キング）になってほしい」との思いを込めて命名されました。
- 上品な香りと甘さ、なめらかな口当たりときめ細かくジューシーな果肉が口の中ですとろけます。
- 日持ちが良く、おいしく食べられる期間が長いのも魅力。
- 通常の春メロンよりも1割以上果実が大きくなります。

恵水 ～秋を彩る芳醇な味わい～



旬の時期：9月上旬～9月下旬

【特長】

- 全国トップクラスの梨産地である茨城県が、17年の歳月をかけて育成したオリジナル品種です。
- 酸味が少なく、深い甘みが感じられ、一般的な梨よりもシャリシャリとした爽やかな食感が楽しめます。
- 大玉で食べ応えがあり、貯蔵性にも優れています。
- 中でも、大きさと糖度が際立ち、1万果に1果と言われる「幻の恵水」は希少価値が高く、高級果実専門店等で1玉1万円を超える金額で販売されました。

茨城県産の栗 ～日本一の栗産地～



旬の時期：9月上旬～10月下旬

【特長】

- 茨城県は栽培面積・生産量ともに全国第1位（令和4年産）を誇る栗の大産地で、「丹沢（たんざわ）」「筑波（つくば）」「岸根（がね）」など、様々な品種が生産されています。
- 県内最大産地の笠間市では、栗の糖分を最大限に引き出す冷蔵熟成が行われており、「笠間の栗 極み」としてブランド化に取り組んでいます。
- 茨城町で生産され、「1穂1果」を目指す「飯沼栗」は、栗として日本で初めて地理的表示（GI）保護制度に認定されました。

常陸牛 ～黒毛和牛の最高級ブランド～



常陸牛煌
kirameki

【特長】

- 指定生産者の磨かれた飼育管理技術と厳選された飼料によりじっくり育てられた黒毛和牛の中から、牛枝肉取引規格「B-4等級以上」に格付けされた最高級ブランドです。
- きめ細かく柔らかな肉質で、見た目にも美しく風味豊かなおいしい霜降り肉が魅力です。
- 中でも、「常陸牛 煌（きらめき）」は、牛肉の風味の良さや口溶け、口当たりの良さなど、全国初の基準に基づき、とことん“おいしさ”を追求して厳選した常陸牛の新たなブランドです。

常陸の輝き ～料理人を魅了する至高の豚肉～



【特長】

- 茨城県が7年の歳月をかけて作り上げたデュロック種系統豚「ローズ D-1」を交配した三元豚に、良質な穀物と腸内環境を整えるための乳酸菌などを加えた専用の飼料を与えてじっくり育てています。
- 一般の豚肉に比べて霜降り度合いが高く、「柔らかく、旨みが強く、香りが良い」と三拍子そろった高品質な肉質が魅力です。
- ローズやヒレはもちろん、モモなどの部位に至るまで、脂の旨み、そして香りの良さが楽しめる贅沢な味わいの豚肉で、有名シェフからも高い評価を得ています。

ポスター・シンボルマークの紹介

◆ポスター



制作者

茨城県立太田西山高等学校2年生（令和4年度）

加藤 瑞貴 さん

趣 旨

茨城県の有名な歴史上人物である水戸黄門と観光地の代表として、牛久大仏、竜神大吊橋、大洗磯前神社を背景においた。

過去から現代までの歴史と建造物、文化を描いた作品。

◆シンボルマーク



制作者

木村 勉 氏

制 定

平成7年度

趣 旨

茨城の自然を表現したもので、周囲の円は、茨城の「い」の字を表わし、その中に筑波山と霞ヶ浦を上段に配し、眼下に関東平野の広がりを見せている。

中央に、茨城の県鳥「ひばり」を取り入れ、「P」と「T」の連携を強調した。第41回関東地区高P連大会「茨城大会」を契機に制定されて以来、本連合会のシンボルマークとして大切に使用されている。

第73回全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会

大会概要



弘道館

歴史の町で変革を!!

～新たな時代が目に入らぬか～

ご挨拶



一般社団法人全国高等学校PTA連合会
会長

た な ぶ とも ゆ き
田名部 智之

本日は、全国高等学校PTA連合会全国大会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。茨城県を開催地とし、「歴史の町で変革を」というテーマのもと、私たちはこの歴史的な場所で共に学び、考え、未来への道を探る機会を得ましたことに心より感謝申し上げます。

茨城県は、古くから日本の歴史と文化の発展に寄与してきた地であり、多くの偉人や出来事がこの地で生まれました。特に、水戸藩の徳川光圀公が築いた偉大な歴史的遺産は、私たちにとって大いなる学びの場であります。その歴史と伝統を尊重しつつ、私たちの活動を未来へとつなげるために、本大会を通じて様々な課題解決に努めたいと思います。

現代の教育現場は、急速な社会の変化に対応しなければならぬという課題に直面しています。デジタル技術の進展やグローバル化の波が押し寄せる中で、子どもたちが未来に必要なスキルを身につけるためには、従来の教育方法にとらわれず、新しいアプローチを積極的に取り入れる必要があります。

特に、デジタル化が進む社会においては、ICT教育の充実が不可欠です。コロナ禍におけるオンライン学習の経験から、デジタル環境の整備や教員のICTリテラシー向上が急務であることが明らかになりました。PTAとしては、これらの課題に対して、どのように支援を行うかを真剣に考え、全ての子どもたちが公平に学べる環境を提供するための方策を模索していくことが求められます。

また、グローバルな視点を持った教育も重要です。異文化理解や多様性の尊重は、これからの社会で活躍するために欠かせない要素です。茨城県の歴史的背景を生かしつつ、グローバルな視野を広げる教育プログラムの開発や、海外との交流を推進することが必要です。これにより、子どもたちは広い視野を持ち、多様な価値観を理解し、柔軟に対応できる力を身につけることができます。

環境問題においては地球温暖化や自然環境の破壊といった問題は、私たちの生活に直接的な影響を及ぼしており、未来を担う子どもたちにとっても重大な課題です。PTAとして、環境教育を推進し、子どもたちに環境保護の重要性を伝えることは、未来の地球を守るために欠かせない役割です。

茨城県は、豊かな自然環境にも恵まれています。この自然を活用し、実体験を通じた環境教育を行うことができます。例えば、地域の自然保護活動に参加したり、エコツアーを通じて自然の大切さを学んだりすることで、子どもたちは環境問題に対する意識を高めることができます。また、学校での環境教育プログラムの充実を図り、持続可能な社会を実現するための知識と行動力を養うことが重要です。

さらに、地域社会との連携も不可欠です。茨城県は、地域資源が豊富であり、地元の伝統や文化、自然環境を活かした教育活動が大いに期待されています。地域との連携を深めることで、子どもたちが地域に根ざした学びを経験し、地域社会への愛着や誇りを育むことができます。PTAとして、地域社会とどのように協力し、子どもたちの成長を支えていくのかを具体的に考えていきたいと思っています。

本大会が、「歴史の町で変革を」というテーマにふさわしく、参加者一人ひとりが新たな視点や知識を得る貴重な機会となることを願っております。茨城県の豊かな歴史と文化に触れながら、私たちのPTA活動が次なるステージへと進化するための一助となれば幸いです。

最後になりましたが、一般社団法人全国高等学校PTA連合会大会茨城大会の開催に当たりまして、尽力くださいました茨城県高等学校PTA連合会をはじめ、文部科学省、全国高等学校長協会、関東地区高等学校PTA連合会など全ての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。そして、全国からお集まりいただいた皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

歓迎のことば



第73回全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会実行委員長

いたくら てつ お
板倉 哲男

全国の会員の皆様ようこそ茨城県へ

第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会へご参加いただきまして誠にありがとうございます。又、オンライン参加の皆様にも心より歓迎とお礼申し上げます。

大会メインテーマに「歴史の町で変革を!!」サブテーマに「～新たな時代が目に入らぬか～」を掲げ、先行き不透明、予測困難な時代に突入するなか、大会趣旨にもありますように、この変化に対応していくためには、学校、家庭、地域においてどのような教育がもとめられるのか。皆さんで考え、情報共有をする事で、見えないトンネルの灯りを見出すことができれば、新たな時代に向かって進むことができます。その灯りを本大会で見つけていただければ幸いです。そのために、分科会では、水戸市、ひたちなか市、小美玉市の5つの分科会会場をご用意させていただき、講師による講演やパネルディスカッション、グループトークなどを盛り込んだ内容の濃い研修にしております。

全体会においては、茨城県出身でもあります、二所ノ関 寛氏（第72代横綱・稀勢の里）を講師にお招きして、演題に「人材育成の不易流行」と題して講演をいただきます。相撲人生や親方になっての経験を活かした人材育成について、熱いトークで語っていただけたと思います。

さて、PTAを取り巻く環境は、少子高齢化により生徒数の減少により、PTA加入者の減少や脱会するなど、PTA活動にも影響を及ぼしております。

生徒数も減少し、野球部では、部員数が少なく他校との合同チームによる大会参加を余儀なくされ、子どもたちも不安を抱えながらの学校生活を迎えて

いることと推察いたします。又、ICT導入によるタブレット端末の活用など、不慣れな学習に不安を抱えているのも事実です。ヤングケアラーの問題や、SNS等によるいじめ問題など、学校だけでは解決出来ない状況化にあります。問題解決には、学校と保護者、そして地域と密に連携を図り、問題解決に取り組むことが求められているのではと思います。それが正にPTAではないのでしょうか、本大会でPTAのあり方を今一度考え、PTAとは何か、PTAはなぜ必要かを念頭に於いて研修していただければ、新たな時代（新たなPTA）が見えてくると思います。

次世代を担う子どもたちが、健全に安全安心に学校生活を送れますよう、PTA活動を通じて見守って行きたいと思っております。

研修終了後には、教育視察や観光など、茨城県の魅力ある観光スポット、竜神大橋、ひたちなか海浜公園、大洗水族館、笠間神社、牛久大仏といったところもお勧めですので、是非、足を運んでみてください。これで魅力度ランキング最下位県なのかと、驚かれる事でしょう。

結びに、これまで準備をしていただきました実行委員会の皆様、全国高等学校PTA連合会の皆様、協力業者の方々にはご協力をいただき誠にありがとうございました。最後に全国の会員の皆様が実りある研修となりますと共に会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念し、大会実行委員長の歓迎のごあいさつと致します。

大会概要

第73回全国高等学校PTA連合会大会2024茨城大会概要

大会テーマ **「歴史の町で変革を!!」**

サブテーマ **～新たな時代が目に入らぬか～**

【大会趣旨】

明日の日本そして世界を担う青少年が、豊かな心を育み、たくましく成長し、自立・活躍できる社会を実現することは、私たちの願いです。もちろん、多くの子どもたちも自分の夢や希望に向けて努力し、成長を遂げようとしていますが、一方で、少子高齢化やグローバル化、AIの進化による急激な社会の変化に伴い、子どもの規範意識の低下、ネット犯罪や貧困問題、ヤングケアラーなどを背景として、問題が多様かつ複雑になっており、学校や家庭だけでは対応できない課題が多くなっています。

中でもコロナ禍は、家庭や学校、地域教育の活動に甚大な影響を及ぼしました。オンライン授業や学校行事の中止、会話の抑制などにより、目と目を見て話すという人間本来のコミュニケーションや、それによって生じる絆を断ち切ってしまったのです。ウィズコロナ、アフターコロナの新たな時代に向けて、私たちは切れた絆を再構築しなければなりません。「親の背を見て子は育つ」と昔から言われてきましたが、背中を見せるのではなく、子どもの目を見て気持ちを伝え合おうではありませんか。

「予測困難な時代」に突入するなか、この変化に対応していくためには、学校及び家庭や地域においてどのような教育が求められるのか。暗中模索のトンネルの中でも、出口にたとえ小さくても灯りを見出すことができれば、新たな時代に向かって進むことができるはずです。その灯りを本大会で見つけていただければ幸いです。

幕末の動乱期に、水戸学は新たな時代明治維新に大きな影響を与えました。その水戸の地で、PTAの新たな取り組みに向けて話し合える機会を持つことができるのは、意義あることだと思います。

今後とも私たちは、予測困難な社会情勢の中においても、PTA活動の歩みを粘り強く進めていかななくてはなりません。すべての子どもたちが、自らの居場所を得て、自己有用感を高め、持てる力を十分発揮できるようになるための新たな時代のPTA活動を目指し、関係機関・団体との連携を一層密にした活動体制の充実強化に積極的に取り組める大会となることを祈念し、ここに茨城大会を開催します。

【大会概要】

- | | |
|-------|---|
| 1 期 日 | 令和6年8月22日(木)～23日(金) |
| 2 会 場 | 全体会会場 アダストリアみとアリーナ
分科会会場 第1分科会 アダストリアみとアリーナ
第2分科会 ザ・ヒロサワ・シティ会館
第3分科会 水戸市民会館
第4分科会 ひたちなか市文化会館
第5分科会 小美玉市四季文化館みの～れ |
| 3 主 催 | 一般社団法人全国高等学校PTA連合会 |
| 4 主 管 | 茨城県高等学校PTA連合会 |
| 5 後 援 | 文部科学省、全国高等学校長協会、関東地区高等学校PTA連合会大会茨城県、茨城県教育委員会、水戸市、水戸市教育委員会、ひたちなか市ひたちなか市教育委員会、小美玉市、小美玉市教育委員会、茨城県高等学校長協会、茨城県高等学校教頭・副校長会、茨城県県立学校事務長会、(公財)日本教育公務員弘済会茨城支部、茨城放送、朝日新聞水戸総局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、茨城新聞社、(一社)水戸観光コンベンション協会 |
| 6 参加者 | 約5,500人・約250校(オンライン参加校) |
| 7 参加費 | 会場参加費 7,500円・オンライン参加費(1校) 7,000円 |

大会日程

◎8月22日(木) 大会1日目 会場：各分科会場 (オンライン参加の場合は9月3日からのアーカイブ視聴となります。)

時間	行 事	会 場
11:30~	受付	各会場
12:20~	アトラクション	
	第1分科会 花生けパフォーマンス 茨城県立小瀬高等学校、茨城県立太田西山高等学校、茨城県立取手第二高等学校	会場1
	第2分科会 ジャズ演奏 茨城県立水戸工業高等学校	会場2
	第3分科会 ガマの油売り口上 茨城県立筑波高等学校	会場3
	第4分科会 応援団演技披露 茨城県立下妻第一高等学校	会場4
	第5分科会 書道パフォーマンス 茨城県立麻生高等学校	会場5
13:00~	開会行事	各会場
13:30~	第1分科会 テーマ 「教育の過去・現在・未来」 サブテーマ ~故きを温ねて新しきを知る~ 講演1 弘道館事務所主任研究員 小畑のり子 氏 演 題 「藩校「弘道館」の教育」 講演2 茨城大学教育学部 教授 加藤 崇英 氏 演 題 「もっと学校・教育がみんなに開かれる未来を展望する」	会場1
	第2分科会 テーマ 「保護者・教師・生徒が抱える問題と解決法」 サブテーマ ~新たな一歩を踏み出すために~ 講演1 司馬クリニック院長 医学博士 司馬理英子 氏 ^{※注1} 演 題 「のび太・ジャイアン症候群」 講演2 有馬総合法律事務所 弁護士 有馬 慧 氏 演 題 「18歳になったら気をつけること~18歳になる前に~」	会場2
	第3分科会 テーマ 「新・生きる力と家族の絆」 サブテーマ ~子どもの心に風邪を引かせない~ 講 演 7男2女の大家族お母ちゃん 石田千恵子 氏 演 題 「子育ては気力・体力・経済力」 フリートーク (石田講師を交えて)	会場3
	第4分科会 テーマ 「みんなで考えよう、これからのPTA」 サブテーマ ~あるべき新しい姿とは~ 講 演 花園大学社会福祉学部 教授 炭谷 将史 氏 演 題 「PTAは学校づくりのパートナー」 グループトーク	会場4
	第5分科会 テーマ 「これからのコミュニティ・スクール」 サブテーマ ~地域社会との新たな連携・協働~ 講 演 文部科学省国立教育政策研究所総括研究官 志々田まなみ 氏 演 題 「学校と地域とでつくるこれからの学校-コミュニティ・スクールとは-」 グループトーク	会場5
16:30~	閉会行事	各会場

※注1：第2分科会の講演1 司馬理英子氏のアーカイブ視聴は9月3日から1週間となります。

【会場1】 アダストリアみとアリーナ 【会場2】 ザ・ヒロサワ・シティ会館 【会場3】 水戸市民会館
【会場4】 ひたちなか市文化会館 【会場5】 小美玉市四季文化館みの〜れ

◎8月23日(金) 大会2日目 (当日のオンライン視聴及び9月3日からのアーカイブ視聴ができます。)

第1会場：アダストリアみとアリーナ 第2会場：ザ・ヒロサワ・シティ会館^{※注2}

時間	行 事	会 場
8:30~	受付	
9:00~	アトラクション マーチングバンド・ステージドリル 茨城県立大洗高等学校	
9:30~	開会行事、表彰式	会場1 及び 会場2
10:40~	記念講演 講 師 二所ノ関 寛氏 (第72代横綱 稀勢の里) ^{注3} 演 題 「人材育成の不易流行」	
12:00~	閉会行事	

※注2：第2会場は映像によるライブ視聴となります。

※注3：二所ノ関寛氏のアーカイブ視聴は8月31日から4日間となります。

オンライン参加について

オンライン参加に申し込まれた単P様へは、8月上旬以降、「第73回全国高P連茨城大会受付デスク」より、申込時に登録頂いたメールアドレスへオンライン参加用パスワードをメール送信いたします。

また、申込Webのマイページからもご確認ができます。茨城大会HP上のオンライン配信バナーからオンライン参加用パスワードを入力することにより、オンライン配信を視聴できます。

※単P会員様であれば視聴人数に制限はありません。事前に単P会員様にオンライン参加用パスワードをお知らせください。

◇全体会のライブ視聴

8月23日（金）9：00～12：30（8：45からログイン可）

※8月22日（木）の分科会はライブ視聴はできません。

◇全ての分科会と全体会のアーカイブ視聴

下記の2つの講演を除き、9月3日（火）10：00～11月29日（金）17：00まで視聴できます。

◆視聴が限定される講演

①全体会での二所ノ関寛氏の記念講演

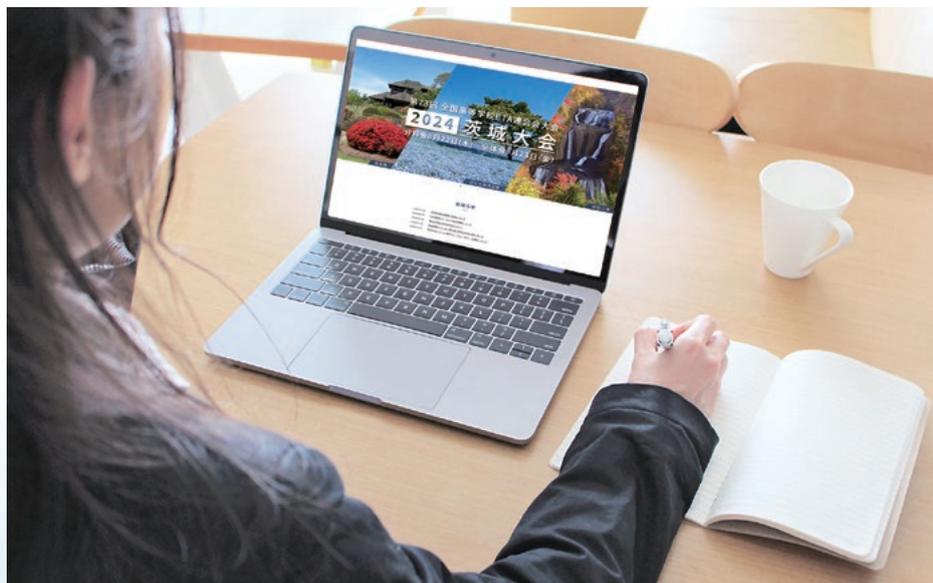
8月31日（土）10：00～9月3日（火）までの4日間となります。

9月4日（水）からの全体会の映像では、二所ノ関寛氏の記念講演は視聴できません。

②第2分科会での司馬理英子氏の講演

9月3日（火）10：00～9月9日（月）までの7日間となります。

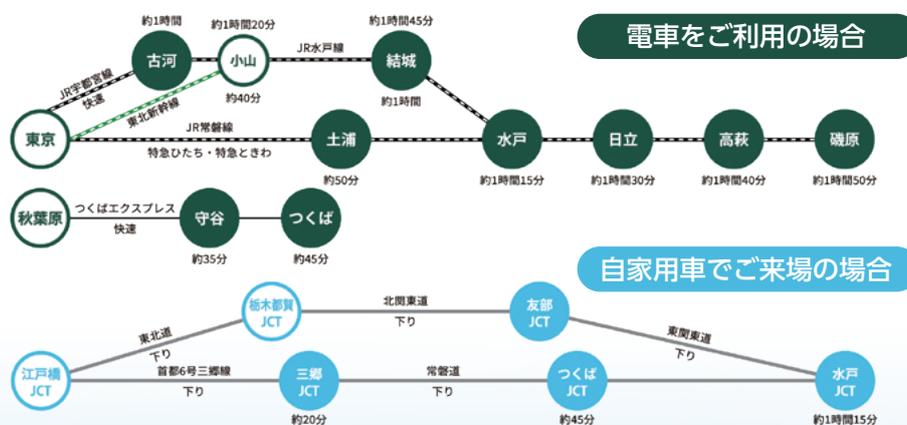
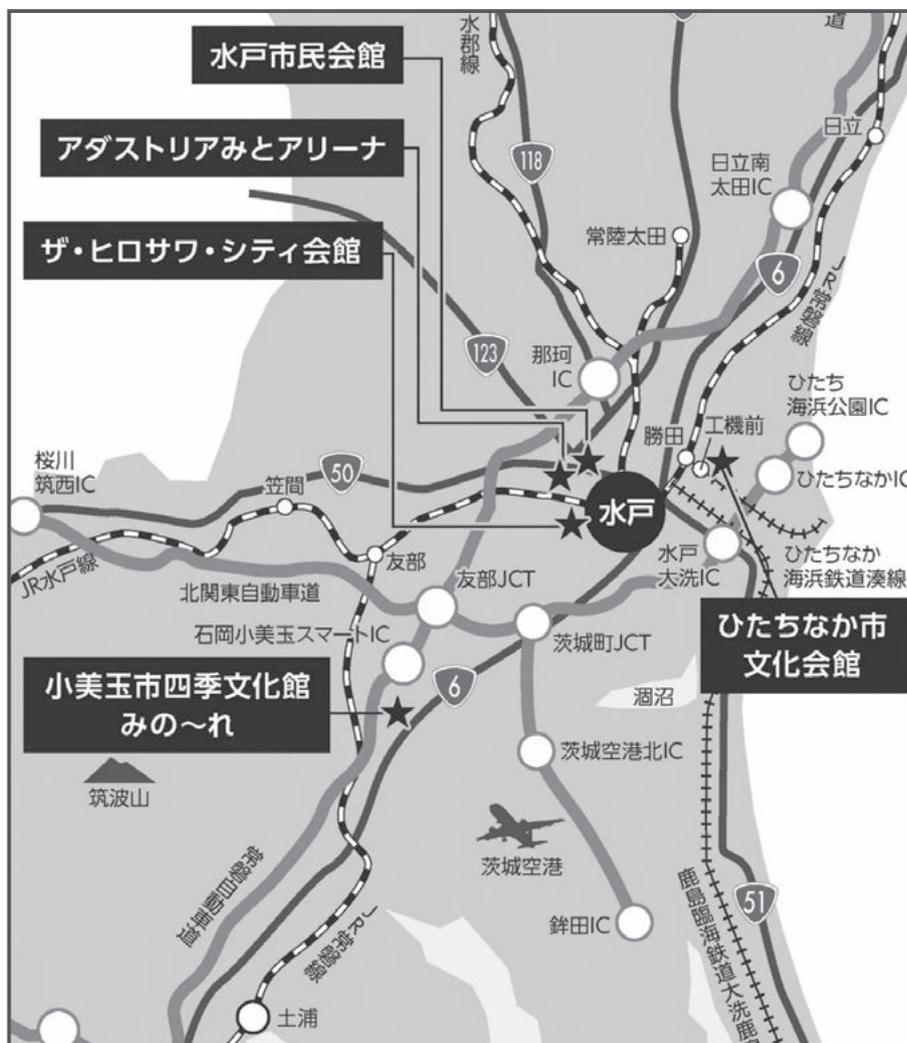
9月10日（火）からの第2分科会の映像では、司馬理英子氏の講演は視聴できません。



会場へのアクセス

オンライン参加について/会場へのアクセス

大会概要



◇駐車場について

第1会場及び第3会場を除き、各会場の駐車場をご利用いただけます。詳しくは分科会会場へのアクセスをご覧ください。

◇貸切バスについて

事前にお申込みいただいた場合のみ貸切バス専用の駐車場を確保いたします(駐車場管理費としてバス1台あたり1日3,000円。貸切バスにはマイクロバス等を含みます)。台数に限りがあるため、他の駐車場に回送いただく場合もございますが、バスの乗降は会場敷地内(水戸市民会館は茨城県三の丸庁舎)の駐車場をご利用いただけます。あらかじめご了承ください。

分科会(全体会)会場へのアクセス



アダストリアみとアリーナ (第1分科会及び全体会)

- 路線バス/水戸駅北口
5番乗り場から乗車
 - ・茨城交通/新原経由・茨大前行き
赤塚方面行き
双葉台方面行き
 - ・関東鉄道/常磐大行き
「東原一丁目」下車徒歩4分
- 駐車場
※自家用車用の駐車場はございませんので、
路線バス又はタクシー等をご利用ください。



ザ・ヒロサワ・シティ会館 (第2分科会及び全体会(ライブ視聴))

- 徒歩/水戸駅南口から約18分
- タクシー/水戸駅南口から約5分
- 路線バス/水戸駅北口
8番乗り場から乗車
 - ・関東鉄道 払沢方面行き
本郷方面行き
「文化センター入り口」下車、徒歩4分
- 駐車場
有料駐車場(1日420円)がございます。満車
の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。



水戸市民会館 (第3分科会)

- 徒歩/水戸駅南口から約20分
- タクシー/水戸駅南口から約7分
- 路線バス/水戸駅北口
4～7番乗り場から乗車
「泉町一丁目」下車、徒歩1分
- 駐車場
※自家用車用の駐車場はございませんので、
徒歩、路線バス又はタクシー等をご利用
ください。



**ひたちなか市文化会館
(第4分科会)**

- 徒歩／勝田駅東口から約15分
- タクシー／勝田駅東口から約5分
- ひたちなか海浜鉄道湊線
工機前駅より徒歩5分
- 駐車場
無料駐車場がございます。台数に限りがございますので、満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。



**小美玉市四季文化館みの〜れ
(第5分科会)**

- シャトルバス／有料(事前申込み者に限ります。)
水戸駅南口(6〜8番乗り場)
往 11:00発/みの〜れ11:40着
復 17:00発/水戸駅南口17:40着
- 駐車場
無料駐車場がございます。

第1会場	アダストリアみとアリーナ	茨城県水戸市緑町2丁目3-10	029-303-6335
第2会場	ザ・ヒロサワ・シティ会館	茨城県水戸市千波町東久保697	029-241-1166
第3会場	水戸市民会館	茨城県水戸市泉町1丁目7-1	029-303-6226
第4会場	ひたちなか市文化会館	茨城県ひたちなか市青葉町1-1	029-275-1122
第5会場	小美玉市四季文化館みの〜れ	茨城県小美玉市部室1069	0299-48-4466

大会役員名簿

大会役員			
大会会長	田名部 智之	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	会長（代表理事） 総務委員長
大会副会長	松下 妙子	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	副会長 総務委員 健全育成委員長
	伊福 聡	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	副会長 総務委員 調査広報委員長
	中村 慎也	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	副会長 総務委員 研修委員長
大会運営委員	西岡 豊	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	専務理事（業務執行理事） 総務委員 賠償責任補償制度運営委員長
	中川 徹	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	常務理事（業務執行理事） 総務委員
	村井 為敦	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事 総務委員 進路対策委員長
	古沢 和明	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	沼澤 早苗	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	笹原 良太	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	松本 正一	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	小野 喜照	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	丸尾 友明	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	佐竹 大樹	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	杉本 龍	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	海東 剛哲	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	代表監事
	樫山 美智子	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	監事

全国高P連事務局			
事務局長	中川 徹	事務局次長	川端 由美子
事務局員	入野 登代子		

茨城大会実行委員会役員名簿

役職名	氏名	県連役員名等
実行委員長	板倉 哲男	令和5年度茨城県高等学校PTA連合会会長
実行委員長代行	岸 弘美	令和4年度茨城県高等学校PTA連合会会長
副実行委員長	青砥 賢一	令和4年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
	篠原 直	令和4年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
	大森 恵美	令和4年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
	高野 由紀子	令和4年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
	服部 美穂子	令和5年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
	鈴木 猛	令和5年度、令和6年度茨城県高等学校PTA連合会副会長（校長協会）
	松本 さおり	令和5年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
	曾根 正雄	令和5年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
	仲村 真一	令和5年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
	福地 秀太郎	令和6年度茨城県高等学校PTA連合会会長
	川和田 篤史	令和6年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
	神原 啓一	令和6年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
	小林 基伸	令和6年度茨城県高等学校PTA連合会副会長
阿久津 実幸	令和6年度茨城県高等学校PTA連合会副会長	
相談役	篠塚 洋一	茨城県高等学校PTA連合会顧問
監事	松本 治伸	令和6年度茨城県高等学校PTA連合会監事
	鈴木 厚子	令和6年度茨城県高等学校PTA連合会監事
事務局	金澤 秀美	茨城県高等学校PTA連合会事務局長
	田口 佳実	茨城県高等学校PTA連合会事務局次長
	梅原 敬子	茨城県高等学校PTA連合会事務局次長（茨城県立太田西山高等学校）
	櫻井 隆之	茨城県高等学校PTA連合会事務局次長（茨城県立水戸商業高等学校）
	久保 晶子	茨城県高等学校PTA連合会事務局事務局員

第73回全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会

分科会



日立風流物
写真提供：日立市

歴史の町で変革を!!

～新たな時代が目に入らぬか～

第1分科会

会場:アダストリアみとアリーナ

テーマ 「教育の過去・現在・未来」

サブテーマ ～故きを温ねて新しきを知る～

テーマ設定の理由

水戸藩では、2代藩主徳川光圀の時代から歴史書『大日本史』の編纂をはじめとする文化事業に力が注がれ、学問が奨励されてきました。時代は下り、幕末の「内憂外患」といわれる時代になると、9代藩主斉昭は多難な時局に対応できる人材の育成こそ急務と考え藩校弘道館を創設します。藩校としては日本最大規模の敷地を有する弘道館は、文館・武館をはじめ医学館・天文台・調練場などが設けられた総合大学的な学問所であり、その敷地構成や教育内容は他藩の藩校にも影響を与えました。

藩校教育が過去の教育とすれば、現在・未来の教育はどのように展開していくのでしょうか。将来の変化を予測することが困難な時代を前に、新時代を生きる子どもたちに、私たちは何をしてあげられるのか。学校にはどのような役割が期待されるのだろうか。私たちは社会の変化に柔軟に対応しなければなりません。しかしながら、どんなに社会が変化しようとも、正義や公正、人権を尊重する心を育成することは、時代にかかわらず教育において変わることはありません。この講演を聴くことで、教育の不易流行を考えてみましょう。

講師

【講演1】 小 坏 のり子氏

演 題 藩校「弘道館」の教育

【講演2】 加 藤 崇 英氏

演 題 もっと学校・教育がみんなに開かれる未来を展望する

講師プロフィール



こ あくつ のり子氏

茨城県水戸土木事務所借楽園公園課弘道館事務所主任研究員

水戸市生まれ。同志社大学文学部文化学科卒業。茨城県立歴史館資料部嘱託職員として勤務し、自治体史編纂に携わり、2017年から現職。現在、水戸市立博物館協議会委員、水戸市都市景観審議会委員、常陸大宮市文化財保護審議会委員などを兼務。

〈主な共著〉

『近世日本の学問・教育と水戸藩Ⅰ～Ⅲ』（水戸市刊行）など。



か とう たか ひで 加 藤 崇 英氏

茨城大学教育学部教授(教職大学院・学校運営コース主任)

山形大学地域教育文化学部助教授、国立教育政策研究所主任研究官、茨城大学教育学部准教授を経て現職。研究分野は学校経営、教育行政。茨城県私立学校審議会委員ほか。

〈著書等〉

『「チーム学校」まるわかりガイドブック』（教育開発研究所）他多数

第2分科会

会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館

テーマ 「保護者・教師・生徒が抱える問題と解決法」

サブテーマ ～新たな一歩を踏み出すために～

テーマ設定の理由

多様化した社会は、教育現場にも例外なく影響を与え、様々な問題が生じています。

この分科会では、まず司馬理英子先生が家庭や学校において、保護者や教師が子どもたちと接するときの、上手なほめ方、叱り方を紹介します。多動性及び衝動性が特徴の「ジャイアン型」と、不注意が特徴の「のび太型」に分類してわかりやすく説明してくれます。

次に弁護士の有馬慧先生から、18歳成人について、保護者・教師・生徒が留意すべき点を、茨城県のスクールロイヤーとしても活動しているお立場で、事例を交えての講演があります。とかく18歳成人は、「まだ幼い、世間知らずで不安だ」という負の声も聞かれますが、社会に貢献するという自己有用感を育成する良い機会にもなることでしょう。

講師

【講演1】 司馬 理英子氏

演題 のび太・ジャイアン症候群

【講演2】 有馬 慧氏

演題 18歳になったら気をつけること～18歳になる前に～

講師プロフィール



し ば り え こ
司馬 理英子氏

岡山大学医学部・同大学院卒業、医学博士

1983年に渡米。アメリカで4人の子どもの育てる中、ADHDについての研鑽を深める。帰国後、発達障害を専門とした「司馬クリニック」を開院。中学生までの子どもと高校生と大人の女性の治療に当たっている。

〈著書〉

『ママのピンチを救う本』（主婦の友社）など多数。



あ り ま け い
有馬 慧氏

東北大学法学部・同法科大学院卒業、弁護士・中小企業診断士

2012年12月 茨城県弁護士会に弁護士登録

2019年 5月 有馬総合法律事務所開設

2023年度～ 日本弁護士連合会 子どもの権利委員会 委員

〈その他の活動〉日本スクール・コンプライアンス学会会員 等

〈著書〉「GPS捜査とプライバシー保護」（現代人分社） 他

第3分科会

会場:水戸市民会館

テーマ 「新・生きる力と家族の絆」

サブテーマ ～子どもの心に風邪を引かせない～

テーマ設定の理由

テレビ番組で定番の大家族モノの中でも、密着26年の日本テレビ「7男2女11人の大家族 石田さんチ」は、誰もが一度は見たことのある国民的ドキュメント番組です。日本の家庭の縮図のような熱い親子関係と、お父ちゃん、お母ちゃんの子育ての中での名台詞の数々は、見終わった後になぜか私たちを元気にしてくれます。その秘密は、子育てに悩む人のみならず、人間関係や人生の岐路に立った人にも、愛ある箴言として勇気と指針を与えてくれるその言葉たちのパワーです。

大きな自然災害を目の当たりにして、日本人の誰もが「日常」のいとおしさ、尊さを痛感し、家族愛や人々の絆を再認識した今、「これからどうやって生きていくのか?」という不安に対するビジョンがあふれています。「家族とは何か?」「失ってはいけない絆とは?」「守るべき人は誰なのか?」石田さんチに生きる力をもらってください。

内容 講演・フリートーク

講師 石田 千恵子氏

演題 子育ては気力・体力・経済力

講師プロフィール



いしだちえこ 石田 千恵子氏

1954年、茨城県生まれ。

1972年、県立日立第二高等学校卒業。

1973年、東京公衆衛生技術学校卒業。

インターンを経て1974年に美容師資格取得。

美容師として活躍した後、1979年、同級生の晃さんと結婚。

1979年11月、長女・奈緒子さんを出産。

その後、7男2女のお母ちゃんとして『大家族石田さんチ』で紹介され、日本一有名な大家族のお母さんに。

現在、認知症の実母の介護の日々を送っている。

〈著書〉

『子どもの心に風邪を引かせない子育て 7男2女一家11人の大家族石田さんチ』(2011/マガジンハウス)

【フリートーク】

講演者 石田 千恵子 氏

討論者 板倉 哲 男 氏 (前茨城県高等学校PTA連合会会長 茨城県立水海道第二高等学校PTA顧問)

吉江 知子 氏 (茨城県立八千代高等学校PTA副会長)

丹下 基生 氏 (茨城県立竹園高等学校PTA会計)

司会 高野 由紀子 氏 (元茨城県高等学校PTA連合会副会長 前茨城県立つくばサイエンス工科高等学校・つくばサイエンス高等学校PTA会長)

第4分科会

会場:ひたちなか市文化会館

テーマ 「みんなで考えよう、これからのPTA」

サブテーマ ～あるべき新しい姿とは～

テーマ設定の理由

子どもの学校生活をサポートするPTAは、不要論も聞かれるくらい様々な課題を抱えています。活動の強制、活動時間帯や非効率的な作業、保護者の参加が少ないことによる教員の負担増など、いくつかの問題があります。一方で、PTAをやってよかったというポジティブな事例もあります。

講演・グループトークを通じて「自分たちの活動は適切か?」「法や社会常識の観点から見て、PTA活動は本来どうあるべきか。」など、それぞれの学校が抱えるPTAの悩みを振り返り、情報を共有し、講師と対話しながら解決方法を探ってみませんか。保護者と教師が協力しながら、PTAに前向きに楽しく参加できる新たな取り組みに向けた、建設的な議論の土台づくりとして、この分科会を開催します。

[講演概要] ★問題の整理:歴史的経緯と存在意義、議論の整理、PTAの目的と方法

★社会的背景とPTA:なぜ現代にPTAが必要なのか、PTAって保護者にとっても重要?

★具体的提案:どんな活動が良いかな?単Pのこと、連合会のことに関するご提案

[グループトーク] ☆PTAに関する問題って、具体的にどんなことが起こってる?

☆それって改善できないのかな?(具体的な改善方法は?)

☆こうやってやったら楽しかったよ♪

内容 講演・グループトーク

講師

炭谷将史氏

演題 PTAは学校づくりのパートナー

講師プロフィール



す み や ま さ し
炭 谷 将 史 氏

[現在]

滋賀県立石山高等学校 PTA 副会長

滋賀県立守山中学・高等学校 学校運営協議会 委員

花園大学社会福祉学部 教授

(博士(教育学)、専門:生態心理学・乳幼児教育学)

滋賀県子ども・若者審議会 会長

[PTA歴]

滋賀県立守山中学・高等学校PTA 副会長 (R1~R3)・会長 (R4)

滋賀県公立高等学校PTA連合会 会長 (R2~R4)

令和4年度近畿地区高等学校PTA連合会大会 大会会長

令和4年度全国高等学校PTA連合会 理事

(主な著書・論文等)

『ワクワク・ドキドキ「園庭づくり」』(ぎょうせい) 2021

『保育所園庭の傾斜付砂場が園児に与える遊びの機会』(生態心理学研究Vol.12.2020) など多数

第5分科会

会場:小美玉市四季文化館みの〜れ

テーマ 「これからのコミュニティ・スクール」

サブテーマ ～地域社会との新たな連携・協働～

テーマ設定の理由

学校と地域をつなげる仕組みは、PTAや学校評議員制度、地域学校協働本部などの組織があります。コミュニティ・スクールとそれらの違いは何なのでしょう。学校は、子どもたちや教職員、保護者、地域の人々などから構成される一つの社会です。最近では、授業での子どもたちによる町おこしや、部活動指導など教員の負担軽減に向けた地域との協働の事例がみられます。これからのコミュニティ・スクールは、学校内だけで教育の実現を目指すのではなく、PTA・学校評議員制度・地域学校協働本部などとの連携が求められるのではないのでしょうか。そうすることで、開かれた教育課程も見えてくると思います。学校及び関係機関並びに地域が連携・協働して互いに理解を深め、今後のコミュニティ・スクール導入促進に取り組む契機として、この分科会を開催します。

内容 講演・グループトーク

講師

志々田 まなみ 氏

演 題 学校と地域とでつくるこれからの学校ーコミュニティ・スクールとはー

講師プロフィール



し し だ
志々田 まなみ 氏

国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官

2000年～2003年、広島大学大学院教育学研究科

2006年～2009年、広島経済大学経済学部 講師

2009年～2015年、広島経済大学経済学部准教授

2015年～2017年、広島経済大学経済学部教授

2017年～現在、日本生涯教育学会 常任理事

(その他の活動)

2015年～現在、広島県教育委員会 教育委員

2019年～現在、日本学習社会学会 理事

(主な著書・論文等)

・『地域学校協働のデザインマネジメント：コミュニティ・スクールと地域学校 協働本部による学びあい・育ちあい』（共著：学文社）2021年。

・「地域学校協働答申以降の学校と地域との連携・協働をめぐる政策動向」

・『日本生涯教育学会年俵43』2022年。他

第73回全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会

全体会



袋田の滝

歴史の町で変革を!!

～新たな時代が目に入らぬか～

式次第

開会式・表彰式次第

- 1 開式のことば 茨城大会副実行委員長
- 2 国歌斉唱
- 3 開会の挨拶 茨城大会実行委員長 板倉 哲 男
- 4 大会会長式辞 (一社)全国高等学校PTA連合会会長 田名部 智 之
- 5 来賓祝辞 文部科学大臣 盛山 正 仁 様
茨城県知事 大井川 和 彦 様
水戸市長 高橋 靖 様
- 6 来賓紹介
- 7 表彰式 優良PTA 文部科学大臣表彰
(一社)全国高等学校PTA連合会会長表彰
 - ・個人の部
 - ・団体の部
 - ・役員・事務職員の部
 - ・特別感謝状贈呈「団体」
 - ・特別感謝状贈呈「個人」
- 8 閉会のことば 茨城大会副実行委員長

ご来賓

文部科学大臣	盛山 正 仁 様
茨城県知事	大井川 和 彦 様
水戸市長	高橋 靖 様
ひたちなか市長	大谷 明 様
小美玉市長	島田 幸三 様
茨城県教育委員会教育長	柳橋 常喜 様
水戸市教育委員会教育長	志田 晴美 様
ひたちなか市教育委員会教育長	秋本 光 憲 様
小美玉市教育委員会教育長	羽鳥 文雄 様
全国高等学校長協会茨城県高等学校長協会会長	渡邊 剛 様

閉会式次第

- 1 開式のことば 茨城大会副実行委員長
- 2 大会会長挨拶 (一社)全国高等学校PTA連合会会長 田名部 智 之
- 3 全国高P連旗返還
- 4 全国高P連旗授与
- 5 次期開催地挨拶 第74回三重大会実行委員長 小野 喜 照
- 6 閉会の挨拶 茨城大会実行委員長 板倉 哲 男
- 7 閉会のことば 茨城大会副実行委員長

令和6年度優良PTA 文部科学大臣表彰被表彰団体一覧

【高等学校・中等教育学校PTA】

No	都道府県名	団体名
1	岩手県	岩手県立花泉高等学校PTA
2	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校全日課程PTA
3	山形県	山形県立村山産業高等学校PTA
4	福島県	福島県立会津第二高等学校父母と教師の会
5	茨城県	茨城県立結城第二高等学校PTA
6	東京都	東京都立工芸高等学校PTA
7	新潟県	新潟県立新潟西高等学校PTA
8	富山県	富山県立高岡支援学校PTA
9	福井県	福井県立大野高等学校PTA
10	岐阜県	岐阜県立武義高等学校PTA
11	静岡県	静岡県立静岡農業高等学校PTA
12	滋賀県	滋賀県立信楽高等学校PTA
13	京都府	京都府立木津高等学校PTA
14	兵庫県	兵庫県立淡路高等学校PTA
15	奈良県	奈良県立山辺高等学校育友会
16	和歌山県	和歌山県立耐久高等学校PTA
17	広島県	広島県立福山明王台高等学校PTA
18	広島県	広島県立広島皆実高等学校PTA
19	山口県	山口県立下関双葉高等学校PTA
20	福岡県	福岡県立行橋高等学校PTA
21	佐賀県	佐賀県立神埼高等学校後援会
22	長崎県	長崎県立西陵高等学校PTA
23	大分県	大分県立日田高等学校PTA
24	宮崎県	宮崎県立都城農業高等学校PTA
25	沖縄県	沖縄県立嘉手納高等学校PTA
26	沖縄県	沖縄県立沖縄水産高等学校PTA

以上26団体

第73回 全国大会会長表彰個人名簿

県名	氏名	所属高校名
北海道	金井 禅	北海道札幌西陵高等学校
	海老田憲人	札幌市立札幌新川高等学校
青森	太田 心生	青森県立木造高等学校
秋田	川田 諭	秋田県立大館桂桜高等学校
	照井 元	秋田県立横手城南高等学校
福島	鈴木 進一	福島県立福島高等学校
栃木	齋藤 裕美	栃木県立真岡工業高等学校
	谷 光博	栃木県立小山南高等学校
群馬	小林 秀晴	群馬県立高崎高等学校
埼玉	伊東 智世	埼玉県立所沢商業高等学校
	関根 弘子	埼玉県立桶川高等学校
	神田亜希子	埼玉県立越谷南高等学校
千葉	高階めぐみ	千葉県立若松高等学校
	柴崎かほる	千葉県立市川工業高等学校
山梨	小宮 広督	山梨県立都留高等学校
富山	横山 征典	富山県立南砺福野高等学校
石川	七海 友也	石川県立穴水高等学校
	林 智久	石川県立大聖寺実業高等学校
福井	出口 岳彦	福井県立勝山高等学校
	梶 健太郎	福井県立敦賀工業高等学校
岐阜	栗本 隆治	岐阜県立岐阜商業高等学校
静岡	佐野 孝之	静岡県立葦山高等学校
	諏訪部孝敏	静岡県立富岳館高等学校
	中里 功	静岡県立浜松北高等学校
三重	川北 貴也	三重県立四日市商業高等学校
大阪府	谷口 昌広	大阪府立布施高等学校
	加藤 美月	大阪府立布施工科高等学校
京都府	大槻 郁雄	京都府立工業高等学校
	榎井 和彦	京都府立京都八幡高等学校
滋賀	阿部百合子	滋賀県立守山北高等学校
	西浦 剛史	滋賀県立八幡商業高等学校
奈良	喜多 洋三	奈良県立山辺高等学校
	佐藤 悠	奈良県立青翔高等学校・中学校
和歌山	前田 隆一	和歌山県立和歌山工業高等学校
	三橋 広士	和歌山県立紀央館高等学校

県名	氏名	所属高校名
兵庫	岩隈 亮介	兵庫県立淡路高等学校
	高本 英子	兵庫県立尼崎工業高等学校
鳥取	木下 雅文	鳥取県立鳥取商業高等学校
	西村 和宏	鳥取県立日野高等学校
山口	山道 香奈	山口県立熊毛北高等学校
	奥富 智昭	山口県立萩高等学校
広島	高端 邦裕	広島県立神辺旭高等学校
	清親 亮介	広島県立三原高等学校
	大下 公一	広島県立音戸高等学校
岡山	福田 純一	岡山県立玉島商業高等学校
	赤瀬 健	岡山龍谷高等学校
香川	入門 美穂	香川県立高松高等学校
	亀山 麿聖	香川県立観音寺総合高等学校
愛媛	紙本 正文	愛媛県立新居浜東高等学校
	西原 陽子	愛媛県立東温高等学校
高知	久保 雅裕	高知県立高知小津高等学校
	井上 牧	高知県立盲学校
福岡	長野 謙司	福岡県立西田川高等学校
	兼竹 義彦	福岡県立八幡南高等学校
	秋山 伸也	福岡県立八女高等学校
佐賀	松本 繁治	佐賀県立太良高等学校
	末次 知浩	佐賀県立唐津工業高等学校
長崎	楠本 忠	長崎県立佐世保工業高等学校
	川下 高広	長崎県立松浦高等学校
熊本	平野 典幸	熊本県立南稜高等学校育友会
	篠田 良	熊本県立上天草高等学校育友会
大分	宮永 尚	大分県立豊府中・高等学校
	生野 敏博	大分県立由布高等学校
宮崎	石山 拓磨	宮崎県立小林秀峰高等学校
	立石 信貴	宮崎県立延岡商業高等学校
鹿児島	内野 匡章	鹿児島県立鹿屋工業高等学校
	野村 義文	鹿児島県立明桜館高等学校
沖縄	大道 幹夫	沖縄県立球陽高等学校
	稲嶺 一馬	沖縄県立名護高等学校

以上69名

第73回 全国大会会長表彰団体名簿

県名	団体名	代表者氏名
北海道	北海道俱知安高等学校PTA	高田 直紀
青森	青森県立木造高等学校PTA	松橋 俊一
岩手	岩手県立水沢農業高等学校PTA	高橋 辰幸
	岩手県立花巻農業高等学校PTA	高橋 康喜
秋田	秋田県立新屋高等学校PTA	本山 治
	秋田県立羽後高等学校PTA	阿部 努
宮城	宮城県仙台第三高等学校PTA	伊藤 真理
	宮城県仙台西高等学校PTA	高間館正人
山形	山形県立山形東高等学校PTA	古沢 和明
福島	福島県立福島高等学校PTA	安田 敬
茨城	茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校PTA	小沼加代子
	茨城県立波崎柳川高等学校PTA	石川 伸也
栃木	栃木県立那須拓陽高等学校PTA	廣木 一央
群馬	群馬県立前橋東高等学校PTA	横田 暁
	桐生市立商業高等学校PTA	須藤まりこ
埼玉	埼玉県立本庄高等学校PTA	斎藤 拓
千葉	千葉県立白井高等学校PTA	永井 孝明
神奈川	神奈川県立舞岡高等学校PTA	芹澤 順子
	神奈川県立相模原高等学校PTA	眞柄 仁美
	神奈川県立湘南台高等学校PTA	滝澤 栄子
山梨	山梨県立白根高等学校PTA	森田 公
東京	東京都立南平高等学校PTA	中澤 紀子
新潟	新潟市立万代高等学校PTA	片桐 康正
	新潟県立津南中等教育学校PTA	宮内裕見子
富山	富山県立中央農業高等学校PTA	有賀 雅子
	富山県立高岡商業高等学校PTA	大西 正起
福井	福井県立福井商業高等学校PTA	西出 智一
	福井県立敦賀高等学校PTA	宇野 精浩
岐阜	岐阜県立飛騨高山高等学校育友会	小嶋 高則
	聖マリア女学院高等学校保護者会	長瀬 輝彦
静岡	静岡県立三島長陵高等学校PTA	瀬川 貴子
	静岡県立焼津中央高等学校PTA	後藤 陽子
愛知	愛知県立一宮起工科高等学校PTA	木全 里恵
	愛知県立東浦高等学校PTA	古内香峰子
	愛知県立田口高等学校PTA	伊藤 勝人
三重	三重県立あけぼの学園高等学校PTA	岡田みどり
	三重県立伊勢まなび高等学PTA	山口 恭子
大阪府	大阪府立池田高等学校PTA	岡部功太郎
	大阪府立淀川工科高等学校PTA	南波 彩
	大阪府立日根野高等学校PTA	畠中 清匡

県名	団体名	代表者氏名
京都府	京都府立東稜高等学校PTA	茨木 明治
	京都府立北桑田高等学校PTA	樋口 泰弘
奈良	奈良県立ろう学校育友会	田畠 舞
	奈良県立高等養護学校PTA	森内奈穂美
和歌山	和歌山県立日高高等学校・附属中学校 一般社団法人 双成会	向井 清陽
	和歌山県立南部高等学校PTA	火縄 正夫
兵庫	兵庫県立夢野台高等学校PTA	土谷 美幸
	兵庫県立伊丹高等学校PTA	守能 岳史
鳥取	兵庫県立柏原高等学校PTA	柳瀬 孝之
	鳥取県立鳥取工業高等学校PTA	奥山 孝雄
島根	鳥取県立米子西高等学校PTA	新田 唯史
	島根県立大田高等学校PTA	恒松 勝
山口	島根県立江津工業高等学校PTA	岩元 理恵
	山口県立熊毛北高等学校PTA	中川 涼子
広島	山口県立萩高等学校PTA	宮本美智子
	広島県立尾道東高等学校PTA	小林 哲則
岡山	岡山学芸館高等学校父母の会	工藤恒一郎
	岡山県美作高等学校PTA	長谷川 毅
香川	香川県立多度津高等学校PTA	冨田 直人
	坂出第一高等学校PTA	植木 明美
高知	高知県立室戸高等学校PTA	山本 浩
	高知県立宿毛工業高等学校PTA	上岡 千夏
福岡	福岡県立直方高等学校PTA	安藤 純一
	福岡県立朝倉高等学校PTA	庄本 和裕
	福岡県立東筑高等学校PTA	曾我部駿介
佐賀	佐賀県立鳥栖商業高等学校PTA	古村 克則
	佐賀県立うれしの特別支援学校PTA	高野恵里香
長崎	長崎県立長崎明誠高等学校PTA	松尾南美江
	長崎県立壱岐高等学校PTA	赤木 貴尚
熊本	熊本県立芦北高等学校育友会	森本 昭浩
	熊本県立牛深高等学校育友会	浅見 秀樹
大分	大分県立国東高等学校PTA	安部 輝義
	大分県立大分工業高等学校PTA	長野 幸男
宮崎	宮崎県立宮崎農業高等学校PTA	梅田 栄治
	宮崎県立高鍋高等学校PTA	古川 誠
鹿児島	鹿児島県立川薩清修館高等学校PTA	松田 邦雄
沖縄	沖縄県立球陽高等学校PTA	玉城 賢二
	沖縄県立首里東高等学校PTA	力宗 寛行

以上78名

全国大会会長表彰個人名簿・団体名簿

全体会

第73回 役員等表彰者個人名簿・特別感謝状

所属	氏名	都道府 県市連	都道府 県市連 事務局	全国	地区
北海道	井村 美彦		事務局長		
青森	葛西 孝之	会長			
秋田	竹嶋美佳沙	会長			
宮城	町田さやか	会長			
	三塚 明彦		事務局長		
茨城	板倉 哲男	会長			
群馬	植木 信行	会長			
埼玉	大竹 雅樹	会長			
千葉	菊池 清美	会長		理事	会長
神奈川	橋本 千春	会長			
山梨	金井 一憲	会長			
富山	松山 朋朗	会長			
石川	稲垣 揚平	会長			
福井	後藤 正邦	会長			
岐阜	後藤栄一郎	会長		理事	会長
静岡	三輪高太郎	会長			

所属	氏名	都道府 県市連	都道府 県市連 事務局	全国	地区
愛知	石井 利和	会長			
	磯谷 和明		事務局長		
三重	佐野 匡史	会長			
大阪府	前野 幸徳	会長			
京都府	鈴木 良彦	会長		理事	会長
京都市	十倉 宏始	会長			
奈良	浅野 勝佳	会長			
兵庫	芳本 和尚	会長			
鳥取	徳吉 淳一	会長			
島根	中村 学	会長			
広島	岡崎 光治	会長			
岡山	菊地 潤	会長		理事	会長
佐賀	久保 隆慶		事務局長		
鹿児島	太田 敬介	会長			
沖縄	下地イツ子	会長			
全国	山田 博章	会長	会長	会長	会長
	丸山 順平	会長		監事	

特別感謝状

第72回全国大会開催地に対する特別感謝状受賞団体

宮城県高等学校PTA連合会

第72回全国大会開催地実行委員会会長に対する特別感謝状受賞者

第72回全国大会宮城大会実行委員長 町田 さやか

以上35名

記念講演

演題 人材育成の不易流行



講師

に しょ の せき ゆたか
二所ノ関 寛 氏
(第72代横綱・稀勢の里)

プロフィール

平成14年	中学校卒業後角界入門
平成16年 5月場所	新十両昇進
平成16年11月場所	新入幕
平成24年 1月場所	大関昇進
平成29年 3月場所	横綱昇進
平成31年 1月場所	現役引退
令和 3年 3月	早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科修了

生涯戦歴800勝496敗97休 (101場所)
幕内戦歴714勝453敗97休 (85場所)

引退会見では、「私の相撲道において、一片の悔いもございません」と語り、土俵を去った第72代横綱・稀勢の里。目先の勝利を求めて小細工に走ることなく、正々堂々と真っ向勝負を挑む姿が全国の相撲ファンの心をわしづかみにした。

15歳で角界入り後、新十両と新入幕をいずれも史上2位の若さで果たした。横綱白鵬の連勝を63で止める大金星を機に更に飛躍し、25歳で大関昇進。多くの試練を乗り越えての初優勝、そして横綱昇進。大けがを負いながら奇跡の逆転V等、数々のドラマを土俵に刻んできた。

現役時代は多くを語らず、黙々と土俵に上がり続けた横綱が引退して親方となった今、相撲道を飾らない言葉で語る。

第73回全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会

アトラクション



国営ひたち海浜公園

歴史の町で変革を!!

～新たな時代が目に入らぬか～

第1分科会

高校生
花いけバトルの

花いけパフォーマンス

即興で花をいける5分間

『高校生花いけバトル』の舞台を再現します!!



高校生花いけバトルとは全力で花をいけて輝き、そして煌めく大会です

花をいけて、楽しむ自由があります。高校生花いけバトルでは、経験や部活動にとらわれることなく、「花をいけたい!」と思う気持ちを少しでも抱いた高校生であれば、誰もが自由に参加することができる、国内唯一の大会です。

日本の花文化を、次代を担う高校生と共にいまの時代にふさわしいかたちで育てている高校生花いけバトル。本日は、地元、笠間焼の花器と共に、枝ものの産出額全国1位を誇る奥久慈の枝物を用い、制限時間わずか5分間の花いけをデモンストレーションいたします。

各校2名1組のチームがリレー形式で途中交代し、一つの作品を完成させるステージをどうぞご覧ください。

デモンストレーションで完成した作品は、明日まで会場内に展示いたします。また、全体会壇上の装花も私たち3校が担当させていただきました。

【バトラー紹介】

水戸地区代表 茨城県立小瀬高等学校 現代文化研究部

私たち現代文化研究部は、花いけバトル茨城大会の優勝を目指して、日々練習をしています。また、地域で活躍している奥久慈枝物部会の皆さんから熱い応援とご指導をいただき、実際に枝物や生花を使った練習で技術を磨いています。昨年度は、花いけバトル全国大会出場以外にも、G7での会場装花や池袋サンシャインシティで行われた関東東海花の展覧会でのパフォーマンス参加など、滅多に出来ない貴重な機会を得る事が出来ました。今日も、小瀬高らしい作品を作れるよう、精一杯がんばります。



県北地区代表 茨城県立太田西山高等学校 商業コース



私たち商業コースでは、「伝統文化を学ぶ」講座で生け花を体験します。生け花の基本を学んだあと、クリスマスや新春などをテーマに学校内外で花のいけこみをさせていただいています。今日も、皆さんの心に残るような作品を完成できるよう頑張ります!!

写真は、奥久慈枝物部会さんから常陸太田市に寄贈された花桃を市役所庁舎内にいけこみをしているところです。

県南地区代表 茨城県立取手第二高等学校 華道部

私たち華道部は、池坊の先生にご指導いただきながら、月に2回程度お稽古をしています。花の名前を覚えたり器具の使い方を学んだりといった基本的なことから丁寧に教えていただいています。大きな枝物や流木などは普段のお稽古では扱うことが少なく戸惑いもありますが、花いけに対する情熱は誰にも負けません!!精いっぱい頑張りますので、応援していただけたらうれしいです!



第2分科会

茨城県立水戸工業高等学校
ジャズバンド部

BLUE BEGINNERS

創部40年を数える伝統ある高校生ビッグバンド、ブルービギナーズです。

現在部員は、3年生9名、2年生16名、1年生15名の計40名で、『聴いてくれる人を笑顔にできる音楽』を目指して、日々音づくりに励んでいます。

レパートリーは、ジャズをはじめ、ロックや演歌など多岐にわたっています。

多くの方々から「ブルビギ」の愛称で親しまれ、水戸市内や県内外各地のイベントから依頼を受け、高校生の『元気』と『若さ』が溢れる演奏で会場を沸かせています。令和5年度は年間50を超えるイベントから依頼を受け、たくさんのお客様に喜んでいただきました。

毎年8月に開催されるジャズ・コンテストでは、毎回、上位の成績をおさめ、団体賞や個人賞などたくさんの賞をいただいております。昨年度は3年連続での会長賞を受賞し、東日本代表として、浜松で開催されるハママツ・ジャズ・ウィークに出演いたしました。

本日は、このような演奏の機会をいただくことができ、大変光栄です。日頃から活動を支えてくださっている皆様に感謝の気持ちを込めて演奏いたします。どうぞブルビギサウンドをお楽しみください。

演奏曲目

- ◇セントルイス・ブルース・マーチ
- ◇フットオン・クラシックス
- ◇テイク・ファイブ
- ◇幸せの黄色いリボン
- ◇スペイン



第3分科会

茨城県立 筑波高等学校 筑波山名物『ガマの油売り口上』

筑波山名物『ガマの油売り口上』は、江戸時代に傷薬として用いられた“ガマの油”を、客寄せの口上を言いながら売っていたことが始まりで、永井兵助（ながいひょうすけ）によって江戸の浅草寺で披露されたといわれます。現在では筑波山の伝統芸能として、つくば市認定地域文化財として認定されています。

本校では、2016年（平成28年）より体験的地域学「つくばね学」を実施してまいりました。「つくばね学」では、生徒は実習を通じて地域の課題解決を目指します。その実習の一つに、筑波山名物『ガマの油売り口上』があり、「筑波山ガマ口上保存会」の方々に講師に招いて『ガマの油売り口上』を習っています。2年生の後期（10月）から習い始め、約半年で覚えます。3年生ではより良いものにするために練習を重ねながら、地域で催される季節のイベントで披露するなど、『ガマの油売り口上』を広める活動をしていきます。伝統芸能を受け継ぎ、多くの方に知ってもらい取り組みが、実習を行う生徒の主体性や協調性、自信を育むことにつながっています。

本来、『ガマの油売り口上』は1人で行いますが、本校では4人の生徒が役割を分担するなど、独特のものとなっています。4人は習うだけではなく、互いに話し合いをしながらより良いものに仕上げていきます。生徒たちが工夫を凝らした筑波山名物『ガマの油売り口上』です。日頃の練習の成果をぜひご覧ください。



第4分科会

茨城県立 下妻第一高等学校 爲櫻應援團

茨城県立下妻第一高等学校・爲櫻應援團は当代で64代目となる伝統ある部活動です。下妻一高の別称である「爲櫻」（いおう）は、幕末の水戸学者・藤田東湖の「天地正大氣粹然鍾神州。秀爲不二嶽 巍巍聳千秋。注爲大瀛水 洋洋環八洲。發爲萬朶櫻 衆芳難與儔。凝爲百鍊鐵 銳利可割鋸。」という正氣の歌の一節、「^{ひら}発いては萬朶の櫻と爲る」に由来しています。

應援團の活動は高校野球の応援はもちろんですが、その他にもラグビー応援、各種壮行会、地域イベントへの演技披露という形での参加、また、應援團単独での公演として、県西地区の4校（下妻一高・水海道一高・境高・つくば秀英高）合同演技披露である「霊峰の下に」、そして爲櫻應援團の團祭「爲應祭」など、多岐にわたって精力的に活動しています。我々は母校に勝利を呼び込む応援を心掛け、母校勝利の際には選手と勝利の喜びを分かち合うことを何よりの喜びとし、日々練習に励んでいます。

部員はリーダー（学ランを着て応援する部員）10名、チアリーダー17名、そして3年前に開学となった附属中のリーダー11名を加え、計38名で活動しています。應援團では応援技術の向上を目指すだけでなく、社会に出てから困ることの無いよう、言葉遣いや所作を大切にしながら日々活動しています。本日は皆様の心を震わすことができるよう、裂帛の気合で以て演技に臨みますので、最後の最後までどうぞよろしくお願い申し上げます。



第5分科会

茨城県立 麻生高等学校 書道部

麻生高校は、昭和4年創立の茨城県立麻生中学校を前身とし、県内最後の旧制中学校として創立されました。令和11年には創立100周年を迎える歴史と伝統のある学校です。本校からは霞ヶ浦や筑波山が眺望でき、冬の寒い日には富士山も見えるなど自然に恵まれた場所にあります。豊かな環境の中で、生徒たちは日々勉学や部活動に励んでいます。

書道部は、現在3年生3名、1年生3名の計6名で週3日活動をしています。令和5年度は鹿児島大会、今年度は岐阜大会へ、2年連続で全国高等学校総合文化祭に出品しています。普段は県や全国など様々な規模の公募展に出品するための作品制作に取り組んでいます。作品制作は個人の活動ですが、部員同士で作品を批評し合うなどしてお互いに切磋琢磨し、部全体での技術向上を目指しています。書道パフォーマンスは、過去には茨城空港などで発表する機会をいただいていたのですが、コロナ禍もあり、今回出演する生徒たちは学校を飛び出してのはじめてのパフォーマンスとなります。

本日はこのような出演機会をいただき光栄に思っております。「青春」というテーマで作品構想から動きまで3年生を中心に考え、練習してきました。3年生はこのパフォーマンスで引退となります。書道に青春を捧げた一人ひとりが躍動するステージぜひご覧ください。



全体会

茨城県立大洗高等学校 マーチングバンド部

BLUE-HAWKS

大洗高校は昨年度創立50周年を迎えた全校生徒160名の超小規模高校。

平成5年、普通科の中に音楽コース1クラスを新設、平成20年より同コースの全国募集を開始した。現在、3学年合計83名が音楽コース=全員マーチングバンド部員として活動している。

県外からの入学生（46名）は県内遠隔地からの入学生（12名）と共に大洗町から提供された女子寮・男子寮で生活しながら、『地域に愛されるマーチングバンド』を目標に、国内外に於いて年間90回前後の演奏活動を続けている。

今年度は7月末から岐阜県で開催される第48回全国高校総合文化祭に於いて、全国初となるパレード部門・マーチング部門・合唱部門の3部門出場が予定されている。

賞歴 日本マーチング協会全国大会に関東代表として36回出場。（金賞23回）
全国高校総合文化祭マーチング部門及びパレード部門に茨城県代表として24回出場
（講評者特別賞・グッドパレード賞を10大会連続受賞中）

部訓 『走ること』『我慢すること』『夢を持ち続けること』

- 演奏曲目
- ①水戸黄門のテーマ
 - ②カラーガードショー『コールド-ハーテッド』
 - ③混声四部合唱『いのちの歌』
 - ④ハレルヤ
 - ⑤ミスター インクレディブル



第73回全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会

資 料



大洗磯前神社 神磯の鳥居

歴史の町で変革を!!

～新たな時代が目に入らぬか～

初代	長岡 文蔵	(自 昭和27年11月 至 昭和32年 8月)
二代	山口 虎夫	(自 昭和32年 8月 至 昭和44年 8月)
三代	藤江 黙成	(自 昭和44年11月 至 昭和48年 8月)
四代	花田 一	(自 昭和48年 8月 至 昭和50年 8月)
五代	仲川 幸男	(自 昭和50年 8月 至 昭和53年 8月)
六代	竹田 定雄	(自 昭和53年 8月 至 昭和57年 8月)
七代	鎌田 道海	(自 昭和57年 8月 至 昭和59年 8月)
八代	小島 幸生	(自 昭和59年 8月 至 昭和63年 8月)
九代	生田 昇一	(自 昭和63年 8月 至 平成 5年 6月)
十代	木本 由孝	(自 平成 5年 6月 至 平成12年 6月)
十一代	田邊 一徳	(自 平成12年 6月 至 平成15年 6月)
十二代	渡邊 綾子	(自 平成15年 6月 至 平成16年 6月)
十三代	藤井 久丈	(自 平成16年 6月 至 平成19年 6月)
十四代	高橋 正夫	(自 平成19年 6月 至 平成21年 6月)
十五代	高間 専逸	(自 平成21年 6月 至 平成23年 6月)
十六代	相川 順子	(自 平成23年 6月 至 平成26年 6月)
十七代	佐野 元彦	(自 平成26年 6月 至 平成29年 6月)
十八代	牧田 和樹	(自 平成29年 6月 至 令和 2年 6月)
十九代	泉 満	(自 令和 2年 6月 至 令和 4年 6月)
二十代	山田 博章	(自 令和 4年 6月 至 令和 6年 6月)
二十一代	田名部智之	(自 令和 6年 6月 至 現在)

年次別全国大会一覽

回	年月日	場所	主な協議題等		
1	昭和 27.11.27	岩手県東京事務所	高校教育の振興・外		
2	28.6.15	静岡県伊豆山潮音閣	教員給与三本立・外		
3	29.1.15	岩手県東京事務所	全国組織の確立について・外		
4	29.6.15	神奈川県箱根強羅石倉温泉	高校教育予算の増額・外		
5	30.7.16	山梨県甲府市場村温泉	同上		
6	31.7.30	東京都立九段高等学校	高校設置基準立法化・外	文 部 大 臣	清瀬 一郎
7	32.7.15	群馬県水上温泉去来荘	高校教職員の定数確保・外	文 部 大 臣	松永 東
8	33.7.13~14	岐阜県下呂温泉会館	高校生の育英資本金増額・文部省に高校教育局(課)の設置・外	文 部 大 臣 代 理 視 学 官	高山 雅雄
9	34.7.25~26	東京都立九段高等学校	高校危険校舎の改築促進・外	文 部 大 臣	
10	35.8.3~4	鳥取県米子市公会堂	高校生の急増対策・外	文 部 大 臣 代 理 視 学 官	鳥巢 道明
11	36.8.3~5	岩手県盛岡市公会堂	高校急増対策建物新・増築費の復活・外 10周年記念式典	文 部 大 臣	
12	37.8.1~3	大分県別府市公民館	高校生の急増対策・外	文 部 大 臣	
13	38.8.23~25	和歌山県白浜町観光会館	高校生の急増対策・外	文 部 大 臣	灘尾 弘吉
14	39.8.25~27	栃木県黒磯高等学校	昭和40年以後の高校生の進学・就職について・外	文 部 大 臣 代 理 政 務 次 官	
15	40.7.26~27	北海道札幌市静修高等学校	大学進学希望者急増対策 文部省に高校教育局(課)設置について・外	文 部 大 臣 代 理 視 学 官	
16	41.8.3~5	高知県高知市 高知新聞放送会館	文部省に高校教育局(課)設置・大学進学急増と 大学入試について・外	文 部 大 臣 代 理 視 学 官	光定 道次
17	42.8.9~11	東京都 東京文化会館	高校設置・設備のための予算増額・大学入試の改 善について・外	文 部 大 臣	剣木 亨弘
18	43.8.21~22	福島県 福島市公会堂	高校設備・設置に対する国の予算増額・大学入試 の改善・高校PTA活動の推進・外	総 理 大 臣 代 理 内 閣 官 房 副 長 官	亀岡 高夫
				文 部 大 臣	灘尾 弘吉
式典	43.10.15	東京都 東京文化会館	高校教育制度制定・高校PTA発足20周年記念式典	文 部 大 臣 代 理 政 務 次 官	
19	44.8.25~26	新潟県 新潟県民会館	大学紛争の早期解決・教職員給与の改善・教職員 定数法の改善・私学の振興	文 部 大 臣 代 理 初 中 局 長	宮地 茂
20	45.8.25~26	長崎市 公会堂	高校教育の振興・教職員の給与の改善・教育予算 の増大・私立学校の振興	文 部 大 臣 代 理 政 務 次 官	西岡 武夫
21	46.8.25~26	名古屋市 愛知県文化講堂	学校教育振興 国庫補助の増額と公費増大・学級数教員定数の改 善・交通安全	文 部 大 臣 代 理	師岡 和房
				文 教 委 員 長	丹波 兵助
22	47.8.24~25	滋賀県 大津市立体育館	必修クラブ費・国庫補助交通安全	文 部 大 臣	稲葉 修
23 式典	48.8.22~24	青森市 市民会館	人材確保法・教育費の増額・高校生の生活指導・ 定通振興(事故補償)(性教育) 25周年記念式典	文 部 大 臣 代 理	説田 三郎
24	49.8.20~21	松山市 県民会館	教育の正常化・公費の増額・大学入試の改善・青 少年健全育成	文 部 大 臣	奥野 誠亮

回	年月日	場所	主な協議題等		
25	50.8.20～21	札幌市 厚生年金会館	青少年の健全育成・高校教育の充実強化・大学入試の改善・社会環境の浄化・PTA活動の促進	文部大臣代理 社会教育審議官	
26	51.8.19～20	横浜市 県民センター	学校管理下事故補償、大学入試の改善、青少年の健全育成	文部大臣	永井 道雄
27	52.8.18～19	広島市 公会堂ホール	学校管理下事故補償 大学入試の改善 青少年の健全育成	文部大臣	海部 俊樹
28 式典	53.8.21	福岡市 九電記念体育館	高校新增築、大学入試の改善、学校管理下事故補償、30周年記念式典	文部大臣代理 社会教育局長	
29	54.8.21～22	金沢市観光会館（ほか）	PTAの組織と運営、PTAの活動と家庭教育・新教育課程への公費増額	文部大臣代理 社会教育局長	
30	55.8.27～28	東京都 NHKホール（ほか）	高校教育の充実振興、教育環境の改善・PTAの組織運営と活動	文部大臣	田中 竜夫
31	56.8.27～28	熱海市 救世会館（ほか）	PTA活動の充実強化、生涯学習の推進充実、国際視野を広げる教育の推進	文部大臣	田中 竜夫
32	57.8.24～25	宮城県スポーツセンター （ほか）	生涯学習とPTA活動・新しい高校教育とPTA活動・家庭教育の充実とPTA活動	文部大臣代理 政務次官	玉生 孝久
33	58.8.25～26	神奈川県 東海大学湘南校舎（ほか）	生涯学習とPTA活動・新しい高校教育とPTA活動・家庭教育の充実とPTA活動・校外生活指導とPTA活動	文部大臣	
34	59.8.27～28	鹿児島県体育館（ほか）	高校教育とPTA活動・家庭教育とPTA活動・校外生活指導とPTA活動・生涯学習とPTA活動	文部大臣代理 社会教育審議官	澤田 道也
35	60.8.28～29	北海道 真駒内競技場（ほか）	高校教育に密着したPTA活動・家庭の教育力を高めるPTA活動・生涯学習を進めるPTA活動・校外生活指導とPTA活動	文部大臣代理 政務次官	嶋山 邦夫
36	61.8.28～29	奈良県 中央体育館（ほか）	PTA活動の充実発展について・高校教育の充実振興とPTA活動・家庭教育の充実とPTA活動・校外生活指導とPTA活動・人権尊重の教育と豊かな地域づくりを目指すPTA活動・21世紀を展望した高校教育のあり方	文部大臣代理 社会教育審議官	澤田 道也
37	62.8.25～26	徳島県 徳島市立体育館（ほか）	PTA活動の充実発展・高校教育の振興と青少年の健全育成・家庭教育の確立と充実・地域社会の教育力の拡充・PTAにおける婦人部の活躍	文部大臣代理 政務次官	岸田 文武
38	63.8.25～26	富山県 総合体育センター（ほか）	高校教育の振興・家庭教育の充実・校外生活指導・生涯教育とPTA活動・高校教育PTAのあり方・良き人を目指す高校教育	文部大臣代理 政務次官	船田 元
39	平成元年 8.23～24	青森県 県営スケート場（ほか）	個性の尊重・生涯学習と高校教育・国際化の進展とその対応策、能力・適正・進路の多様化とその対応策・家庭教育・PTAのあり方	文部大臣代理 政務次官	町村 信孝
40 記念	2.8.27～28	東京都日本武道館（ほか）	高校教育・進路指導・生活指導・家庭教育・社会参加・生涯学習時代とPTA、PTA活動の活性化、父母像と教師像	内閣総理大臣代理 総理府次長 文部大臣	小谷 宏三 保利 耕輔
41	3.8.26～28	三重県営総合競技場体育館 （ほか）	高校教育・進路指導・生活指導・家庭教育・教科外教育活動・「三ない運動」その原点とPTAの対応	文部大臣代理 政務次官	中山 成彬
42	4.8.26～28	熊本県立総合体育館（ほか）	高校教育・進路指導・生活指導・家庭教育・進学、就職問題・学校管理下、外の安全と救済・「生涯学習時代とPTA」パートⅢ	文部大臣代理 政務次官	松田 岩夫

回	年月日	場所	主な協議題等		
43	5.8.26～28	北海道真駒内 アイスアリーナ	高校教育に密着したPTA活動・家庭の教育力を高めるPTA活動・生涯学習を進める観点からPTA事業のあり方等校外生活指導とPTA活動	文部大臣代理 政務次官	安部 基雄
44	6.8.25～27	大阪府立体育館（ほか）	家庭・学校・地域社会の連携とともに、家庭を構成する一人ひとりの人権を守り、家庭のあり方を見直す。また、生涯学習時代を迎えて多様化するPTA活動の方向を探る。	文部大臣代理 政務次官	
45	7.8.24～26	コンベックス岡山（ほか）	新しい教育観に立ち心豊かでたくましい人間性を育む。また、社会変革による教育環境の変化には、克服すべき課題もPTA活動の役割も大きい。	文部大臣代理 政務次官	佐藤 泰介
46	8.8.26～28	新潟市 産業教育振興センター（ほか）	心豊かに創造性をもって平和に生きる青少年を育成するため、個性の伸長国際社会への貢献、家庭・地域の連携等、今日的課題を協議	文部大臣代理 生涯学習局長	草原 克豪
47	9.8.26～28	山形県 総合スポーツセンター（ほか）	成熟社会を迎えたいま個性を發揮し、しなやかな感性と柔軟な判断力を持ち、一人ひとりがたくましく生きながら豊かな未来を創造する若者を育成するために家庭・学校・地域との連携のあり方を協議した。	文部大臣	小杉 隆
48	10.8.26～28	群馬県 グリーンドーム前橋（ほか）	21世紀の我が国を担う、たくましい心身と豊かな人間性、創造性をもった青少年を育てるために、PTAとしていま何をすべきか、特に家庭の教育力の回復、家庭と学校・地域社会との連携の強化等について研究協議した。	文部大臣	有馬 朗人
49	11.8.25～27	岐阜メモリアルセンター （ほか）	21世紀を目指し社会の変化に主体的に対応できる心豊かな若者を育てよう。－そのためにPTA活動はどのようにあるべきか－等について研究協議した。	文部大臣	有馬 朗人
50 記念	12.8.25～27	日本武道館（ほか）	「PTAの教育実効を強化し發揮する新たな出発点になること」を大テーマとし、真に「子ども達の幸福追求を支援する」団体になろうと誓うこと。	文部大臣	大島 理森
51	13.8.22～24	ワールドコンベンション センター 「サミット」（ほか）	青少年が、未来へ夢や目標を抱き「生きる力」を育み、創造的で活力に満ち、心豊かに成長するための今日的課題についての研究討議	文部科学副大臣	岸田 文雄
52	14.8.21～23	旭川大雪アリーナ（ほか）	家庭や地域の「教育力」が大切といわれる今日、次代を担う青少年のためにどう活動すべきか、今後のPTAとしての活動の在り方について研究協議した。	文部科学大臣	遠山 敦子
53	15.8.20～22	ワールド記念ホール（ほか）	次代を担う高校生の「若い芽」を21世紀をリードする人間にいかにして育むか、そのためにPTAが家庭や地域と共に子ども達にどうかかわっていくか、今日的な課題について、研究協議した。	文部科学大臣 政務官	池坊 保子
54	16.8.18～20	香川県 高松市総合体育館（ほか）	次の時代を担い、心豊かで意欲と志をもって未来を切り拓く、「生きる力」もったたくましい青少年の育成が、いま求められている。しかし、青少年をとり巻く社会環境の急激な変化や、社会全体の価値観の多様化の中で子どもたちがおかしくなりつつある。このような問題を踏まえPTAとしてとり組むべき課題について研究協議した。	文部科学副大臣	稲葉 大和

回	年月日	場所	主な協議題等		
55	17.8.26～28	長野市ビックハット (ほか)	自立と共生～輝く未来の主役たちのために～をメインテーマに掲げ、若者たちの夢と希望をささえ、家庭と地域の教育力を高め、若い芽の優しさ、たくましさ大きく伸ばすことを願って、私たちPTAが今取り組むべき課題について研究協議した。	文部科学大臣代理 生涯学習政策局	
56	18.8.23～25	秋田市立体育館 (ほか)	今まさに青少年たちを取り巻く環境の激変する中、「夢・可能性・次代を拓き共に生きる力」をテーマに、「私たち親として今何が出来るか」そして「今何を実践すべきか」を研究協議した。	文 部 科 学 大 臣 政 務 官	有村 治子
57	19.8.23～25	さいたまスーパーアリーナ (ほか)	夢 希望 彩り豊かに 輝く明日を創造する力をテーマに彩の国・埼玉で全国の仲間を結集し、子供たちの取り巻く環境を真摯に見据えつつ、将来の展望等研究協議した。	文部科学副大臣	池坊 保子
58	20.8.21～23	愛知県名古屋市 日本ガイシスポーツプラザ (ほか)	青少年を取り巻く社会環境が変化し、価値観も多様化している。生活の場である家庭・学校・地域社会がその役割と責任を自覚し、支援することが大切であり、親子の絆、地域の絆、人間としての絆を今どう深めるか協議した。	文部科学副大臣	山内 俊夫
59	21.8.26～28	沖縄県宜野湾市 沖縄コンベンションセンター (ほか)	国際化・情報化の進展や少子高齢化社会到来など急激な社会変化に伴い、学校に求める教育内容も多様化している。思いやりのある豊かな心(チムグル)を基軸とした教育再生が求められている中、学校・家庭・地域の連携協力と家庭教育の充実について協議した。	文部科学副大臣	山内 俊夫
60	22.8.19～21	日本武道館 (ほか)	子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で求められているものは、柔軟性のある生きる力としての人間力である。これをバランスよく育むために、家庭・学校・地域・社会が連携していくための取り組みを研究討議し、さらに人間力を育てるネットワークの大きな輪を求めた。	文 部 科 学 大 臣 政 務 官	高井 美穂
61	23.8.25～26	北海道立総合体育センター 「北海きたえーる」 (ほか)	いのち 輝け！～人・夢・愛 ひたむきに頑張る君たちを応援したい～をテーマに、子どもの命をこの世に送り出したものとして、改めて「いのち」を育み、他人を思いやる心や美しいものに感動する心を培い、社会に貢献できる大人に育てる方策について語り合った。	文 部 科 学 大 臣 政 務 官	笠 浩史
62	24.8.23～24	和歌山ビッグホエール 武道・体育センター和歌山 ビッグウエーブ (ほか)	和をもって響き合え！～つれもて広げる 共育の輪～をテーマに、人と人との「つながり」を再確認し、子どもも大人も共に育つ社会をめざして、私たちができること、私たちがやるべきことは何なのかについて、真剣に研究協議を行った。	文 部 科 学 省 生涯学習政策局長	合田 隆史
63	25.8.21～22	山口県 スポーツ文化センター アリーナ (ほか)	夢から志へ～たくましく生きるチカラを育むために、今、私たちができること～をテーマに、子ども達自身が夢を紡ぎ、公に裏付けられた志を育むために地域社会総がかりで教育現場を支える方策を研究討議した。	文 部 科 学 大 臣	下村 博文
64	26.8.21～23	福井県 サンドーム福井 福井フェニックスプラザ 敦賀市民文化センター (ほか)	教育と考福～未来に引き継ぐ知と恵み～をテーマに「家庭」「学校」「地域」がそれぞれの役割を見つめ直し、ともに学び連携しあうPTA活動の深化を目指して研究討議した。	文 部 科 学 大 臣	下村 博文

回	年月日	場所	主な協議題等		
65	27.8.19～21	岩手県 岩手産業文化センター 盛岡市アイスアリーナ (ほか)	未来圏からの風をつかめ！～新時代を担う君たちと共に～をテーマに東日本大震災後、東北初の開催となった。「防災・復興教育」と「情報化社会と教育」を中心に活発な討議がなされた。	文部科学大臣	下村 博文
66	28.8.24～26	千葉県 幕張メッセ (ほか)	「再発見！愛」～今こそ信じよう愛の絆～をテーマに「学校」「家族」「地域社会」の絆を深め、「人を思いやる気持ち」「優しさ」を育む教育について活発な討議がなされた。	文部科学大臣	松野 博一
67	29.8.23～25	静岡県 小笠山総合運動公園エコパ アクトシティ浜松 静岡市民文化会館 (ほか)	「有徳の人づくり」～未来のために行動する「一人」を育てよう～をテーマに子どもたちが高い志、未来を切り開く力を養うための環境を整えることについて研究討議した。	文部科学大臣	林 芳正
68	30.8.19～21	佐賀県 佐賀県総合体育館 佐賀市文化会館 唐津市文化体育館 (ほか)	「広めよう 高めよう 慈しむ力」～君たちが作る希望の明日を～をテーマに混迷の時代を生き抜く子どもたちに、慈しむ心を忘れず、希望の明日をつくっていくための環境、PTAの役割について研究討議した。	文部科学大臣 政務官	新妻 秀規
69	R1.8.22～23	京都府 京都市勤業館みやこめっせ ロームシアター京都	「Kyoから！未来を拓く」～受け継ぎ、創る新たなストーリー～をテーマにこれまでのPTA研修会や研究大会で産み蓄えられた財産をもう一度見つめ直し、子どもたちの健やかな未来を創るためには、どのように考えて何をすればよいのかということについて研究討議した。	文部科学副大臣	永岡 桂子
70	R3.8.25	島根県 島根県民会館大ホール (オンライン開催)	「ご縁づくり」～新たな明日への礎のために～をテーマに、これからの学校教育の形、SNSの正しい活用、地域で育む未来への学び、体験でつながる人々とのご縁、グローバルにつなぐ教育、未来社会に対応するための教育などの諸課題について研究討議した。	文部科学大臣	萩生田光一 (ビデオ メッセージ)
71	R4.8.25～26	石川県いしかわ 総合スポーツセンター 石川県産業展示館4号館	「輝く未来への礎」～親から始める新時代の教育～をテーマに、新時代の家庭教育、新時代の学校教育、新時代のキャリア教育、新時代の進路選択について、「新時代」における親の世代の役割、あるべきビジョンや行動について研究協議した。	文部科学副大臣	築 和生 (ビデオ メッセージ)
72	R5.8.24～25	宮城県カメイアリーナ仙台 (仙台市体育館) 東京エレクトロンホール宮城 (県民会館) トーネットホール仙台 (仙台市民会館) 仙台国際センター 仙台サンプラザホール 川内萩ホール	「豊かな社につむぐ虹の光」～しなやかな強さで生き抜く力～をテーマに、コミュニティスクールとグローバルの光、ICTで広がるキャリアデザインの光、強く生きるための多様性とコミュニケーションの光、withコロナpostコロナにおけるPTAの光、いのちと希望を未来につなぐコミュニティの光、シチズンシップ教育が育む新たなデモクラシーの光について研究討議した。	文部科学副大臣	築 和生

令和6年度一般社団法人 全国高等学校PTA連合会 役員名簿

I 役員

1 理事

	役職名	氏名	担当	選出枠	県名	備考
1	会長 (代表理事)	田名部 智之	総務委員長	理事会	青森	
2	副会長	松下 妙子	健全育成委員長	理事会	長野	
3	副会長	伊福 聡	調査広報委員長	理事会	広島	
4	副会長	中村 慎也	研修委員長	理事会	石川	
5	専務理事 (業務執行理事)	西岡 豊	賠償責任補償制度 運営委員長	理事会	佐賀	
6	常務理事 (業務執行理事)	中川 徹		全国高等学校長協会		事務局長
7	理事	村井 為敦	進路対策委員長	北海道	北海道	北海道地区会長
8	理事	古沢 和明		東北	山形	東北地区会長
9	理事	沼澤 早苗		関東	埼玉	関東地区会長
10	理事	笹原 良太		東京	東京	東京地区会長
11	理事	松本 正一		北信越	長野	北信越地区会長
12	理事	小野 喜照		東海	三重	東海地区会長
13	理事	丸尾 友明		近畿	兵庫	近畿地区会長
14	理事	佐竹 大樹		中国四国	高知	中国四国地区会長
15	理事	杉本 龍		九州	沖縄	九州地区会長

2 監事

1	代表監事	海東 剛哲		理事会	北海道	
2	監事	櫻山 美智子		東京	東京	

II 顧問・相談役

1	顧問	山田 博章				前会長
2	相談役	泉 満				元会長
3	相談役	宮本 久也				全国高等学校長協会 事務局長

令和6年度一般社団法人 全国高等学校PTA連合会 委員会名簿

総務委員会		
職名	所属県名	氏名
会長	青森	田名部 智之
副会長	長野	松下 妙子
副会長	広島	伊福 聡
副会長	石川	中村 慎也
専務理事	佐賀	西岡 豊
常務理事	事務局長	中川 徹
理事	北海道	村井 為敦

健全育成委員会		
職名	所属県名	氏名
委員長	長野	松下 妙子
委員	北海道	雨池 工盛
委員	福島	鈴木 健児
委員	群馬	明峯 顕周
委員	東京	稲津 浩一
委員	福井	入場 理
委員	岐阜	宮崎 征一郎
委員	奈良	福本 亜紀
委員	徳島	中山 翔
委員	宮崎	脇山 富夫

進路対策委員会		
職名	所属県名	氏名
委員長	北海道	村井 為敦
委員	岩手	川上 博基
委員	山梨	辻 宏幸
委員	東京	依田 稔
委員	石川	小坂 勇次
委員	静岡	住吉 明
委員	大阪	眞鍋 亘
委員	広島	藤原 みどり
委員	鹿児島	市園 豪

調査広報委員会		
職名	所属県名	氏名
委員長	広島	伊福 聡
委員	北海道	堀川 貴庸
委員	青森	高橋 尚裕
委員	茨城	福地 秀太郎
委員	東京	木村 豊行
委員	富山	西能 淳
委員	愛知	川端 安利
委員	滋賀	前川 久幸
委員	高知	佐竹 大樹
委員	長崎	野口 富士男

研修委員会		
職名	所属県名	氏名
委員長	石川	中村 慎也
委員	北海道	辻 麻紀
委員	秋田	佐沢 かな子
委員	栃木	佐藤 直人
委員	東京	植茶 万里子
委員	新潟	古川 憲
委員	三重	小野 喜照
委員	京都府	各務 宇春
委員	鳥取	岡山 佳文
委員	大分	和田 俊二

賠償責任補償制度運営委員会		
職名	所属県名	氏名
委員長	佐賀	西岡 豊
委員	北海道	増田 雅彦
委員	山形	武田 悟
委員	千葉	林 修一
委員	石川	山口 文彦
委員	岐阜	亀山 弘
委員	奈良	中本 克之
委員	徳島	山本 裕史
委員	鹿児島	豊島 真臣

令和6年度一般社団法人 都道府県市高等学校 PTA 連合会

都道府県市高等学

No	都道府県市 高P連名称	〒	事務局所在地	電話・FAX
1	北海道高等学校 PTA連合会	060-0005	北海道札幌市中央区北5条西6-1 第2北海道通信ビル7F	TEL 011-232-0007
				FAX 011-232-0006
2	青森県高等学校 PTA連合会	030-0113	青森県青森市第二問屋町4-11-6 計量検定グループ庁舎内	TEL 017-757-8586
				FAX 017-757-8587
3	岩手県高等学校 PTA連合会	020-8515	岩手県盛岡市上田3-2-1 岩手県立盛岡第一高等学校内	TEL 019-625-6386
				FAX 019-613-7795
4	秋田県高等学校 PTA連合会	010-0955	秋田県秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター5F	TEL 018-863-6681
				FAX 018-863-8360
5	宮城県高等学校 PTA連合会	983-0836	宮城県仙台市宮城野区幸町4-5-1 宮城県青年会館内	TEL 022-299-4621
				FAX 022-352-0538
6	山形県高等学校 PTA連合会	991-8501	山形県寒河江市大字西根字石川西355 村山総合支庁西庁舎	TEL 0237-85-0070
				FAX 0237-85-0072
7	福島県高等学校 PTA連合会	960-8153	福島県福島市黒岩字田部屋53-5 福島県青少年会館内	TEL 024-545-3368
				FAX 024-545-3402
8	茨城県高等学校 PTA連合会	310-0011	茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎3F	TEL 029-221-1448
				FAX 029-231-1660
9	栃木県高等学校 PTA連合会	320-0066	栃木県宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内	TEL 028-625-1882
				FAX 028-622-6327
10	群馬県高等学校 PTA連合会	371-0801	群馬県前橋市文京町2-20-22 群馬県生涯学習センター内	TEL 027-223-3173
				FAX 027-223-3199
11	埼玉県高等学校 PTA連合会	330-0063	埼玉県さいたま市浦和区高砂2-2-20-5A	TEL 048-822-3690
				FAX 048-825-3030
12	千葉県高等学校 PTA連合会	263-0011	千葉県千葉市稲毛区天台町285 千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所	TEL 043-255-0687
				FAX 043-255-0681
13	神奈川県立高等学校 PTA連合会	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル9F	TEL 045-641-0337
				FAX 045-641-0338
14	山梨県高等学校 PTA連合会	400-0031	山梨県甲府市丸の内3-33-7	TEL 055-226-7290
				FAX 055-226-7133

校PTA連合会一覽

No	都道府県市 高P連名称	〒	事務局所在地	電話・FAX
15	東京都公立高等学校 PTA連合会	167-0052	東京都杉並区南荻窪4-29-10 田丸ビル205号	TEL 03-5941-5067
				FAX 03-5941-5068
16	新潟県高等学校 PTA連合会	950-0965	新潟県新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ-701	TEL 025-384-8244
				FAX 025-384-8288
17	富山県高等学校 PTA連合会	930-0018	富山県富山市千歳町1-5-1	TEL 076-432-2810
				FAX 076-432-1501
18	石川県高等学校 PTA連合会	920-0918	石川県金沢市尾山町10-5 石川県文教会館内	TEL 076-232-1847
				FAX 076-232-1846
19	福井県高等学校 PTA連合会	918-8135	福井県福井市下六条町14-1 福井県生活学習館2F	TEL 0776-41-4053
				FAX 0776-41-4023
20	長野県高等学校 PTA連合会	380-0935	長野県長野市中御所1-20-1	TEL 026-223-2015
				FAX 026-223-2035
21	岐阜県高等学校 PTA連合会	500-8889	岐阜県岐阜市大縄場3-1 岐阜県立岐阜高等学校内	TEL 058-201-1200
				FAX 058-253-0146
22	静岡県公立高等学校 PTA連合会	420-0853	静岡県静岡市葵区追手町3-11 しずおか焼津信用金庫追手町ビル6F	TEL 054-255-4678
				FAX 054-255-4699
23	愛知県公立高等学校 PTA連合会	460-0007	愛知県名古屋市中区新栄1-49-10 愛知県教育会館6F	TEL 052-261-5886
				FAX 052-241-7048
24	三重県高等学校 PTA連合会	514-0002	三重県津市島崎町314 三重県島崎会館2F	TEL 059-223-1881
				FAX 059-223-1897
25	大阪府立高等学校 PTA協議会	540-0022	大阪府大阪市中央区糸屋町2-1-1 三和センチュリービル701	TEL 06-6809-6440
				FAX 06-6809-6445
26	京都府立高等学校 PTA連合会	602-8054	京都府京都市上京区西洞院通下立売上ル 京都府庁西別館3F	TEL 075-411-0073
				FAX 075-411-0073
27	京都市立高等学校 PTA連絡協議会	601-8004	京都府京都市南区東九条東山王町27 元山王小学校生涯学習部分室内	TEL 075-693-7461
				FAX 075-693-7462
28	滋賀県公立高等学校 PTA連合会	520-0844	滋賀県大津市国分一丁目15-1 滋賀県立石山高等学校内	TEL 077-599-0506
				FAX 077-599-0506

No	都道府県市 高P連名称	〒	事務局所在地	電話・FAX
29	奈良県高等学校 PTA協議会	636-0343	奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1 奈良県立教育研究所内	TEL 0744-47-4088
				FAX 0744-47-4088
30	和歌山県高等学校 PTA連合会	640-8312	和歌山県和歌山市森小手穂136 和歌山県立和歌山東高等学校内	TEL 073-488-7210
				FAX 073-488-7786
31	兵庫県公立高等学校 PTA連合会	650-0012	兵庫県神戸市中央区北長狭通5-5-12 兵庫県土地改良会館内	TEL 078-371-7080
				FAX 078-371-0056
32	鳥取県高等学校 PTA連合会	680-0846	鳥取県鳥取市扇町21 県民ふれあい会館内	TEL 0857-27-0730
				FAX 0857-27-0739
33	島根県高等学校 PTA連合会	690-0876	島根県松江市黒田町538	TEL 0852-22-8602
				FAX 0852-22-8735
34	山口県公立高等学校 PTA連合会	753-0072	山口県山口市大手町2-18 山口県教育会館2F	TEL 083-923-4761
				FAX 083-923-4785
35	広島県高等学校 PTA連合会	730-0013	広島県広島市中区八丁堀11-28 朝日広告社ビル4F	TEL 082-223-3347
				FAX 082-223-3351
36	岡山県高等学校 PTA連合会	703-8258	岡山県岡山市中区西川原251-1	TEL 086-230-1213
				FAX 086-230-1835
37	徳島県高等学校 PTA連合会	770-0003	徳島県徳島市北田宮1-8-68 徳島県教育会館内	TEL 088-678-7775
				FAX 088-678-7776
38	香川県高等学校 PTA連合会	760-0022	香川県高松市西内町7-11 香川県高等学校PTA会館内	TEL 087-851-4614
				FAX 087-851-4628
39	愛媛県高等学校 PTA連合会	790-0801	愛媛県松山市歩行町1-7-4	TEL 089-909-7300
				FAX 089-909-7311
40	高知県高等学校 PTA連合会	780-0972	高知県高知市中万々78 高知県立高知ろう学校内	TEL 088-802-7890
				FAX 088-802-7891
41	福岡県公立高等学校 PTA連合会	812-0044	福岡県福岡市博多区千代1-2-4	TEL 092-641-8747
				FAX 092-641-8948
42	佐賀県高等学校 PTA連合会	840-0016	佐賀県佐賀市南佐賀3-11-15 佐賀県立佐賀東高等学校内	TEL 0952-29-2573
				FAX 0952-26-5435

No	都道府県市 高P連名称	〒	事務局所在地	電話・FAX
43	長崎県公立高等学校 PTA連合会	852-8014	長崎県長崎市竹の久保町12-9	TEL 095-861-3146
				FAX 095-861-3147
44	熊本県公立高等学校 PTA連合会	860-0844	熊本県熊本市中央区水道町14-21 熊本県婦人会館3F	TEL 096-326-3932
				FAX 096-326-5527
45	大分県高等学校 PTA連合会	870-0951	大分県大分市下郡496-38 大分県教育会館2F	TEL 097-556-5925
				FAX 097-556-6035
46	宮崎県高等学校 PTA連合会	880-0803	宮崎県宮崎市旭1-3-10 県婦人会館2F	TEL 0985-20-8879
				FAX 0985-20-8890
47	鹿児島県 PTA連合会	890-0064	鹿児島県鹿児島市鴨池新町7-4 自治会館内	TEL 099-206-1072
				FAX 099-206-1073
48	沖縄県高等学校 PTA連合会	900-0014	沖縄県那覇市松尾1-6-1 沖縄県教職員共済会館八汐荘3F	TEL 098-866-6420
				FAX 098-866-6429
一般社団法人 全国高等学校PTA連合会		101-0025	東京都千代田区神田佐久間町2-1 奥田ビル301号	TEL 03-5835-5711
				FAX 03-5835-5757

令和5年度 第72回全国高等学校 PTA 連合会大会 2023宮城大会

決算報告書

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	対予算増減 (A) - (B)	摘 要
1 参加費	45,000,000	42,742,500	2,257,500	7,500円×5,699人
2 オンライン参加費	4,200,000	1,722,000	2,478,000	7,000円×246校
3 自己財源	5,000,000	0	5,000,000	
4 東北地区高P連補助金	1,200,000	0	1,200,000	
5 地元補助金	2,500,000	2,500,000	0	宮城県200万円、仙台市50万円
6 全国高P連事業負担金	2,400,000	2,276,359	123,641	全国高P連
7 雑収入	100,000	70,101	29,899	広告協賛費、預金利息
合 計	60,400,000	49,310,960	11,089,040	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	対予算増減 (A) - (B)	摘 要	
補助対象経費	1 報償費	2,000,000	1,066,880	933,120	講演者、コーディネーター、パネリスト、司会者、手話通訳者等謝礼
	2 旅費	570,000	240,270	329,730	講演者、コーディネーター、手話通訳者等旅費
	3 需用費	5,160,000	11,265,929	△ 6,105,929	ポスター、大会要項、会報等印刷
	4 役務費	7,010,000	5,243,631	1,766,369	会場設営・撤去費用、参加登録管理費用等
	5 使用料及び賃借料	9,200,000	6,444,220	2,755,780	会場使用料、付帯設備使用料等
	6 オンライン経費	4,000,000	2,972,640	1,027,360	分科会・全体会等配信費用
小 計	27,940,000	27,233,570	706,430		
補助対象外経費	1 報償費	1,720,000	1,396,430	323,570	アトラクション出演者等謝礼
	2 旅費	5,810,000	2,718,644	3,091,356	実行委員会委員・各会議等旅費
	3 需用費	4,050,000	1,922,289	2,127,711	立看板、ステージ横断幕、消耗品等
	4 役務費	3,180,000	3,380,170	△ 200,170	企画運営管理費、郵送料、警備員等委託費等
	5 使用料及び賃借料	326,000	338,460	△ 12,460	PC賃借料、コピー機等使用料
	6 賃金	4,275,000	4,817,000	△ 542,000	臨時職員賃金
	7 会議費	1,130,000	274,810	855,190	各種会議開催経費等
	8 食糧費	1,060,000	867,844	192,156	運営スタッフ昼食代等
	9 雑費	3,990,000	2,969,834	1,020,166	スタッフTシャツ、保険料、缶バッジ等
	10 視察経費	3,465,000	3,391,909	73,091	石川大会派遣費用
	11 予備費	3,454,000	0	3,454,000	
小 計	32,460,000	22,077,390	10,382,610		
合 計	60,400,000	49,310,960	11,089,040		

$$\begin{array}{rcl} \text{総収入額} & - & \text{総支出額} = \text{差引残額} \\ 49,310,960 & - & 49,310,960 = 0 \end{array}$$

令和6年3月31日

上記の通り、宮城大会決算として報告します。

第72回全国高等学校PTA連合会大会

宮城大会実行委員長 町田 さやか

第73回全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会

協賛企業



結城紬（ユネスコ無形文化財）

歴史の町で変革を!!

～新たな時代が目に入らぬか～

ご協賛企業・団体様一覧

(五十音順、敬称略)

株式会社アイヤマ観光	小野瀬自動車株式会社
愛友酒造株式会社	小野智久土地家屋調査士事務所
株式会社アプリシエイト	株式会社海藤建設
安見貴志税理士事務所	片山税務会計事務所
株式会社井上フード（粉とクリーム）	亀印製菓株式会社
茨城県信用組合	関東フーズサービス株式会社
茨城県立石岡商業高等学校PTA	近畿日本ツーリスト株式会社つくば支店
茨城県立磯原郷英高等学校PTA	株式会社向山窯
茨城県立潮来高等学校同窓会	コバヤシ社会保険労務士事務所
茨城県立潮来高等学校PTA	株式会社斉田材木店
茨城県立太田西山高等学校PTA・体育文化後援会	有限会社サクセステック
茨城県立太田第一高等学校PTA	佐藤印刷株式会社
茨城県立鹿島灘高等学校PTA	株式会社JTB水戸支店
茨城県立鬼怒商業高等学校PTA	株式会社常陽銀行
茨城県立荃崎高等学校PTA	鮪割烹かしわ
茨城県立古河第三高等学校PTA	全国大学生生活協同組合連合会
茨城県立国民宿舎鶴の岬	有限会社大樹 パン工房 ぶれっど
茨城県立佐和高等学校PTA	大翔工業株式会社
茨城県立多賀高等学校PTA	有限会社大地
茨城県立中央高等学校PTA	株式会社高砂鐵工所
茨城県立土浦第三高等学校同窓会	有限会社玉木
茨城県立土浦第三高等学校PTA	株式会社つくば資材
茨城県立那珂湊高等学校	鉄板ダイニング和來
茨城県立日立商業高等学校PTA	学校法人常磐大学・常磐短期大学
茨城県立日立第一高等学校同窓会白亜会	有限会社ナカムラスポーツ
茨城県立日立第一高等学校・附属中学校PTA	学校法人日本国際学園 日本国際学園大学
茨城県立日立第二高等学校PTA	学校法人沼田学園
茨城県立水海道第二高等学校同窓会	フードテクノエンジニアリング株式会社
茨城県立水海道第二高等学校PTA	平成30年度常総市PTA連絡協議会
茨城県立結城第二高等学校同窓会	水戸信用金庫
茨城交通株式会社	明治安田生命保険相互会社
茨城トヨタ自動車株式会社	株式会社八千代商事
AIG損害保険株式会社	株式会社山西商店
株式会社AS企画	結城信用金庫
エースチャイルド株式会社	ヨシモト車輛

子どもが進む未来を、 親と支える 大学生協

高校、大学、社会人、と子どもは
自分の未来のために努力を続け、
歩みを進めていきます。
その子どもに寄り添いながら
共に未来へ歩いていくのは、
大学生協も親御さんと同じです。
大学生協では、親御さんの想いをうけとり、
大学生の目指す未来に向けて、
新生活準備や毎日の食事、就職のことなど、
日々の生活を身近でサポートしていきます。

大学生活の **パートナー**
大学生協



全国大学生協同組合連合会(略称:全国大学生協連)には、
213の大学生協が加入しており、156万人を超える学生・院生・
留学生・教職員が組合員となっています。

 **UNIV.** 全国大学生協同組合連合会
CO-OP

志望校を決めたら、まずアクセス!
きっと役立つ情報が見つかります!

詳しくはホームページをご覧ください。

*志望されている大学名を入れて検索してください。
<https://www.univcoop.or.jp/>



「大学生協についてもっと
知りたい!」という方は、こ
こからアクセスできます!



こちらの表紙の冊子を
ご一読ください。

あらゆる学校連絡をLINEで簡単に



つながる連絡®

SNS 学校連絡システム

PDF でプリント配布

遅刻・欠席・早退の連絡も簡単

メッセージ斉配信で
すぐ連絡が届く

緊急時の連絡も迅速に

こんなニーズにお応えします！

先生も保護者も
毎朝の電話連絡が大変！



LINE から手軽に遅刻や欠席の報告が可能です！

プリントの印刷代が高いし
印刷するのも大変！
配布しても紛失されたら
保護者に情報が伝わらない！



印刷代を削減し、スムーズかつ確実に
保護者に連絡プリントを配布できます！

Q & A

個人のLINE ID を学校に
教えないといけないのですか？



個人のLINE ID が学校に知られることは
ありません。LINE ID を知られることなく
やりとりが可能です。

導入が難しそうで心配です。



ご家庭側はLINE で専用の公式アカウントを
友だち登録するだけで使えます。
つながる連絡はクラウドサービスなので、
学校側の導入もスムーズに可能です。

利用者（中学校長）の声

配布プリントを保護者にLINE で送る機能は
便利だけでなく、ペーパーレスによる
経費と時間の大幅な削減が実現しました。
約700人の生徒がおりますが、計算したところ
紙やインク代にかかるコストは毎月約5万円
業務時間は毎月7～8時間程度の削減と
なりました。



各教員が保護者とLINE でメッセージの
やりとりをしていますが、それを校長や教頭など
管理職がそれらの内容全てを閲覧できる
権限付与の仕組みが便利だと感じます。
もし教員が返信に困っているやりとりがあれば
校長が助言をしたり、相談にのることもできます。
また、私自身が返信をすることもあります。

PTA 活動に役立つ機能もあります！

詳しくは会場入り口に設置してあるブースへお越しください

エースチャイルドは、LINE 株式会社の「Technology Partner」です。
つながる連絡は、エースチャイルド株式会社の登録商標です。
この広告は2023年7月時点の情報で作成されたものです。
今後、仕様の変更などにより、内容の全部もしくは一部に変更が生じる可能性があります。

▼お問い合わせ・詳細はこちらから▼

つながる連絡

<https://tsunaren.jp/>



エースチャイルド株式会社 <https://www.as-child.com/>
〒105-7105 東京都港区東新橋 1-5-2 夕留シティセンター 5F

茨城県庁で採用されました！ 6,500名が働き方見える化システムとして活用中！

職員の **働き方改革** **働きがい改革** を実現する

プレミアム勤怠 iTTime

低価格なのに、多機能

- ✓ 全て使えて低価格
- ✓ 多様な打刻方法
- ✓ カンタン操作
- ✓ カンタン設定



主な機能

-  労務時間管理
-  シフト管理
-  有給管理
-  残業 / 休暇申請
-  アラート
-  工数管理
-  CSV連携
-  ダッシュボード
-  出退勤打刻



オンラインデモ受付中！

第73回全国高等学校PTA連合会大会

茨城大会

祝

MITSUKAIDO 2ND



茨城県立
水海道第二高等学校
同窓会

祝

第73回全国高等学校PTA連合会大会

茨城大会



茨城県立水海道第二高等学校

P T A

8+1 モデルの 多彩な学びで夢を叶える

— 日本国際学園大学 —



将来に向けたキャリア支援

卒業後の進路を実現するカリキュラム

キャンパスアドバイザー制度の導入によるきめ細かな学生サポート

経営情報学部 ビジネスデザイン学科

- 国際教養（グローバルキャリア、大学院進学）モデル
- 英語コミュニケーションモデル
- 現代ビジネス（企業総合職、地域づくり、経営者、起業家）モデル
- 公務員（行政職、警察官、公的サービス）モデル
- 国際エアライン（CA、グランドスタッフ）モデル
- 国際ホテル（フロントサービス、料飲、ホテル総合職）モデル
- AI・情報（DX、ウェブデザイナー、プログラマー、データアナリスト）モデル
- コンテンツデザイン（グラフィック、イラスト、動画、アニメーション）モデル
- 日本文化・ビジネスモデル（外国人学生・留学生対象）



2024年 4月
茨城・宮城に開学
 **日本国際学園大学**
JAPAN INTERNATIONAL UNIVERSITY



公開講座
オープンキャンパスの
お申込み、入試情報は
こちらから！！

【つくばキャンパス】

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1
TEL.029-858-4812（広報課）

【仙台キャンパス】

〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋2丁目1-13
TEL.022-222-8659（代）



未来を担う学生を応援しています。

HISTORY+ 金属加工・製造のスペシャリスト SPECIALIST



株式会社 高砂鐵工所

〒319-1541 茨城県北茨城市磯原町磯原 1611-1
TEL 0293-43-1950 FAX 0293-44-0005
<https://www.takasagoiron.jp>



第73回全国高等学校PTA連合会大会

2024茨城大会



感動のそばに、いつも。

株式会社JTB 水戸支店

〒310-0803 茨城県水戸市城南 1-1-6 サザン水戸ビル2階

TEL:029-225-5233 FAX:029-226-4017

営業時間:月～金/9:30～17:30(土・日・祝日休業)

一般貸切観光バス関自旅第 1668 号 ・ 茨城県知事登録旅行業第 3-696 号
 企画・提案安心な旅のトータルサポート・各種バス送迎等の事なら何でもご相談下さい！



株式会社アイヤマ観光

〒300-2722 茨城県常総市蔵持 742 番地1【本社】

TEL:0297-42-4625 FAX:0297-42-0086

〒302-0026 茨城県取手市稲 1169 番地 203 号【取手営業所】

TEL:0297-85-2500 FAX:0297-85-2500

<http://www.ak-bus.com>

常磐大学 常磐短期大学

- 常磐大学** ■ **人間科学部** 心理学科／教育学科（初等教育コース・中等教育コース）
 現代社会学科／コミュニケーション学科／健康栄養学科
 ■ **総合政策学部** 経営学科／法律行政学科／総合政策学科
 ■ **看護学部** 看護学科

常磐短期大学 ■ **幼児教育保育学科**

・ 9月～12月の入試日程（詳しくは受験生応援サイトをご確認ください。）



受験生応援サイト



大学情報やその他の
 入試情報、出願方法
 などはコチラから！

入試制度	事前相談		出願期間	試験日	合格発表
	申込期間	相談日			
総合型選抜Ⅱ期	9/19(木)～9/26(木)	10/6(日)	10/8(火) ～ 10/14(月)	10/26(土)	11/1(金)
総合型選抜Ⅲ期	11/25(月)～12/2(月)	12/7(土)	12/9(月) ～ 12/10(火)	12/15(日)	12/17(火)
入試制度			出願期間	試験日	合格発表
学校推薦型選抜（公募制）			11/1(金) ～ 11/7(木)	11/16(土)	12/2(月)
総合型選抜（卒業生推薦）			11/25(月) ～ 12/2(月)	12/15(日)	12/17(火)

入試制度		出願期間	試験日	合格発表
総合型選抜（セミナー型）	一次選抜	9/2(月) ～ 9/6(金)	9/15(日)	9/18(水)
	二次選抜	一次選抜合格者のみ書類選考	—	11/1(金)
学校推薦型選抜（公募制）		11/1(金) ～ 11/7(木)	11/17(日)	12/2(月)
総合型選抜（個別型Ⅰ期）		11/25(月) ～ 12/2(月)	12/15(日)	12/17(火)
総合型選抜（卒業生推薦）		11/25(月) ～ 12/2(月)	12/15(日)	12/17(火)

【お問い合わせ】
 アドミッションセンター
 茨城県水戸市見和1-430-1
 ☎ 029-232-0007
 ✉ kouhou@tokiwa.ac.jp



学校法人沼田学園 2つの専門学校と県内最大13の附属園

実務教育と手厚いサポート！あなたの夢や目標を応援します！

筑波保育医療専門学校

土浦市東崎町8-5 JR土浦駅から徒歩8分



「夢」を夢で終わらせない

- | | | |
|--------------------------------------|------------------------------|--------------------|
| ■こども学科 | ■情報処理学科 | ■事務管理学科 |
| こども保育コース
こどもスポーツコース
こどもリミックコース | システムエンジニアコース
Webクリエイターコース | 医療事務コース
経理事務コース |

オープンキャンパス開催日程 10:00~12:00

9/8(日) 29(日) 10/19(土) 11/10(日) 12/8(日)



筑波医療福祉専門学校

つくば市小野崎303-6 TXつくば駅から徒歩15分



心の力持ちまっています

- | | |
|---------|--------------------|
| ■介護福祉学科 | ■医療事務学科 |
| | 医療秘書コース
医療福祉コース |

オープンキャンパス開催日程 10:00~12:00

9/7(土) 21(土)* 10/20(日) 11/16(土) 12/7(土)



※は入試対策説明会(10:00~11:00)

13の幼稚園・保育園・認定こども園

白帆幼稚園(土浦市) 白帆保育園(土浦市) 千代田保育園(かすみがうら市) 荒川沖幼稚園(阿見町) 阿見認定こども園(阿見町)
牛久幼稚園(牛久市) 牛久保育園(牛久市) ひたち野牛久幼稚園(牛久市) つくば白帆幼稚園(つくば市) 島名保育園(つくば市)
陽光台保育園(つくばみらい市) みらい認定こども園(つくばみらい市) もりや白帆保育園(守谷市)

祝

第73回全国高等学校PTA連合会大会
茨城大会



安見貴志税理士事務所

税理士 安見貴志

(令和2年度 茨城県高等学校PTA連合会会長)

〒309-1717 茨城県笠間市旭町627-2

☎0296-85-5980 FAX0296-85-6830 ✉ami-zei@cb3.so-net.ne.jp



～行きたいところへ快適に！茨城交通の観光バス～



茨城交通株式会社

ツアーへのお申込み・お問い合わせはこちら

茨城交通株式会社 旅行部 TEL: 029-251-3125

【営業時間 9:10~18:00 (祝日を除く月曜~土曜日)】



若い力 × 技術力

企業HP



食品工場の計画・設計から製造・施工・運営・アフターサービスまで。「食」に特化したトータルエンジニアリング企業です。



株式会社 つくば資材

- 本社
〒305-0023
茨城県つくば市上ノ室793-1
TEL:029-857-8876(代)
FAX:029-857-8830
- 水海道支店
〒303-0033
茨城県常総市水海道高野町2155-1
TEL:0297-22-8876(代)
FAX:0297-22-8878
- 神奈川営業所
〒252-1112
神奈川県綾瀬市上土棚中3-10-13
TEL:0467-76-0506
FAX:0467-76-6875

有限会社 クリーンサービス

〒303-0033
茨城県常総市水海道高野町2155-1
TEL:0297-22-8876(代)
FAX:0297-22-8878

創造を超えるサービスを目指します

つくば資材グループ

祝 第73回全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会

平成30年度常総市PTA連絡協議会 OB.有志

篠崎圭一郎 鈴木健一 石塚克之 平塚弘紀 柳田浩一 伊藤和芳 石塚正人



Boys and girls be ambitious!

第73回全国高等学校PTA連合会大会 2024 茨城大会



祝

第73回全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会

茨城県立日立第一高等学校 ・附属中学校 PTA



〒 317-0063
茨城県日立市若葉町3丁目15番1号
TEL. 0294-22-6488
E-mail koho@hitachil-h.ibk.ed.jp
URL <http://www.hitachil-h.ibk.ed.jp>



探

究

茨城県立日立第一高等学校同窓会 白聖会

〒 317-0063
茨城県日立市若葉町3丁目15番1号
同窓会事務局
TEL. 090-2466-1500
E-mail info@hitachi-hakua.jp



～ 2027年に日立一高は創立100周年を迎えます ～



くるまの町医者 おかげさまで70年
ONOSE MOTORS 70TH
 Anniversary

■ホリデー車検ひたちなか



小野瀬自動車株式会社
ホリデー車検ひたちなか
ビットレンタカー

代表取締役社長 小野瀬征也 (2003年日立一高卒)

茨城県ひたちなか市高野667-5

TEL:029-285-5157 FAX:029-285-3807



境界に関する測量・分筆・地目変更登記
 未登記建物表題・滅失登記他お気軽にご相談ください。

(有)トミー・シティクリエイト
小野智久土地家屋調査士事務所

代表取締役社長 小野智久 (1986年日立一高卒業)

〒316-0002

茨城県日立市桜川町3丁目4-17

Tel 0294-35-0308

Fax 0294-35-0307



YACHIYO

株式会社 八千代商事

代表取締役 福地秀太郎

(1995年日立一高卒)

住所 茨城県日立市若葉町3-3-5

URL <https://www.yachiyoshoji.com>

フロンティアへ 人を、地域を、もっと笑顔に TOYOTA

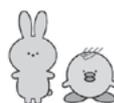
P R I U S



心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

Instagram



ホームページコード



本社お客様センター ☎0120-090110 茨城トヨタ自動車株式会社 水戸市千波町1887
スピードはひかえめに。シートベルトやチャイルドシートを忘れずに。



はじめよう あらたなこと
皆様とともに
まち. ひと. しごと

いつも親切
けんしん 茨城県信用組合
<https://www.kenshinbank.co.jp/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 11 A.L.A.S.O.G.連携

水戸藩の儉約思想が息づく銘菓
糖蜜ときな粉であられを包み、熟練の職人が
細長く伸ばし、きな粉をたっぷりつまふして
仕上げる茨城伝統の銘菓です。



吉原殿中

水戸銘菓



創業 嘉永五年

亀 亀じるし

亀印製菓株式会社

水戸市見川町2139-5

TEL 029-305-2255/FAX 029-244-1941

オンラインショップ

<https://www.kamejirushi.co.jp>



祝

第73回全国高等学校 PTA 連合会大会
茨城大会



商業科 2クラス

(3年のみ3クラス)

普通科 1クラス

校訓
自主 勤勉 協和

茨城県立那珂湊高等学校

茨城県ひたちなか市山ノ上町4番6号

TEL 029-262-2642 FAX 029-263-3961

やりたいことに挑戦!

勉強に、行事に、部活動に

一生懸命に、楽しく。



茨城県高等学校PTA連合会

生徒総合保障制度

当制度は茨城県高等学校PTA連合会において生徒の安全な学校生活のために導入されている制度です。

「生徒総合保障制度」「PTA総合補償制度」のお問合せ
AIG損害保険代理店 株式会社トータルマネージメント
〒310-0805 茨城県水戸市中央2-6-29 AIG水戸ビル1F
TEL 029-302-6255 FAX 029-302-6256



制度引受保険会社

AIG損害保険株式会社 茨城支店

〒310-0805 茨城県水戸市中央2-6-29 AIG水戸ビル6F
TEL 029-224-5505 FAX 029-227-1510

祝

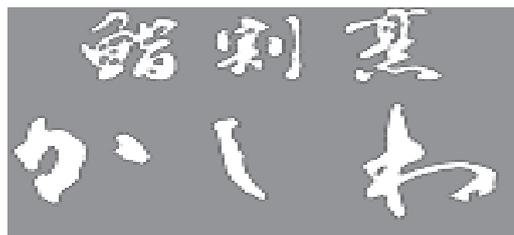
第73回 全国高等学校

PTA 連合会大会茨城大会



茨城県立荃崎高等学校 PTA

茨城県つくば市荃崎447-8



地元水戸のお客様に愛されて50年

本格的な寿司と割烹料理とどうぞ

鰯刺煮かしわ

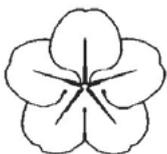
〒310-0912 茨城県水戸市見川2-344-8

TEL : 029-252-1097

祝

第73回 全国高等学校

PTA 連合会大会茨城大会



茨城県立佐和高等学校 PTA

茨城県ひたちなか市稲田 636-1

祝 第73回全国高等学校 PTA 連合会大会茨城大会

私の未来は

私が創る



茨城県立太田第一高等学校PTA

祝

第73回全国高等学校PTA連合会大会
茨城大会

鉄板ダイニング和來

オーナー 吉江 忠

〒303-0031

茨城県常総市水海道山田町1122-1

電話 (0297)38-8200
FXA

鉄板ダイニング
和來

祝

第73回 全国高等学校

PTA 連合会大会茨城大会



茨城県立石岡商業高等学校 P T A

茨城県石岡市東光台3丁目4番1号



自分史・自叙伝作りませんか？
詳細は下記までお問い合わせ下さい。

佐藤印刷 水戸 検索



情報は印刷によって
生まれ変わる。

本社

〒310-0043

水戸市松が丘2-3-23

TEL.029-251-1212 FAX.029-251-1047

つくば
営業所

〒305-0051

つくば市二の宮4-4-21

TEL.029-855-7622 FAX.029-855-7490

 **佐藤印刷株式会社**

第73回全国高等学校PTA連合会大会
茨城大会

茨城県立結城第二高等学校 同窓会

結城フレックススクール

～人とつながるオンリーワン

みんなが資源 みんなで支援～



祝
第73回全国高等学校PTA連合会大会
茨城大会

定時制課程 単位制高校
フレックススクール



茨城県立鹿島灘高等学校PTA
PTA会長 高橋 壽夫



祝 第73回全国高等学校PTA連合会大会

茨城大会

茨城県立潮来高等学校同窓会 うしお会

同窓会会長 杉田 千春



祝 第73回全国高等学校PTA連合会大会
茨城大会

茨城県立潮来高等学校PTA

〒311-2448 茨城県潮来市須賀3025番地

TEL 0299-66-2142

FAX 0299-66-2670

祝

第73回全国高等学校
PTA連合会大会茨城大会



GRANBERRY

空中いちご園

グランベリー大地

〒300-2507 茨城県常総市三坂新田町 2383-2

有限会社 大地

祝

第73回全国高等学校
PTA連合会大会茨城大会

茨城県立多賀高等学校PTA

茨城県日立市鮎川町 3-9-1



祝

第73回 全国高等学校
PTA連合会大会茨城大会



茨城県立中央高等学校PTA

〒319-0133 茨城県小美玉市張星 500

TEL 0299(46)1321 FAX 0299(46)5309

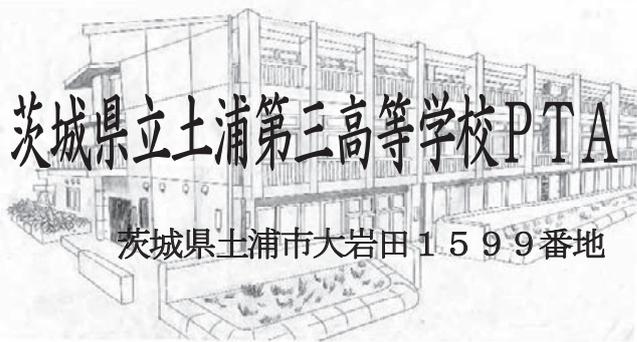
祝 第73回全国高等学校
PTA連合会大会茨城大会

茨城県立土浦第三高等学校同窓会

会長 葉梨 衛

茨城県土浦市大岩田1599番地

祝 第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会



有限会社 **サクセステック**

〒317-0065

茨城県日立市助川町1丁目17-5

Tel 0294-23-2217

Fax 0294-23-2229

祝 第73回 全国高等学校
PTA連合会大会茨城大会



茨城県立日立第二高等学校 PTA

茨城県日立市鹿島町3丁目2番1号

野ばらのように
清らにまはる
踏まれても
刈られても
たくましく
美しく
生きまよう

祝

第73回 全国高等学校PTA連合会大会
茨城大会



茨城県立鬼怒商業高等学校PTA

〒307-0011 茨城県結城市小森1513-2
TEL 0296-32-3322 FAX 0296-33-6706

祝 第73回 全国高等学校
PTA連合会大会茨城大会



清き瞳に未来を映せ

茨城県立太田西山高等学校

PTA・体育文化後援会

茨城県常陸太田市新宿町 210

祝 第73回 全国高等学校PTA連合会大会
茨城大会



茨城県立磯原郷英高等学校 PTA

Kaito

株式会社 **海藤建設**

総合建設業 茨城県知事許可 第32927号

〒302-0006 茨城県取手市青柳817-5

TEL)0297-75-3580 FAX)0297-94-0739

<http://www.kaitoukensetu.com>

祝 第73回全国高等学校
PTA 連合会大会茨城大会

“この場所で自分らしく夢中になる”



茨城県立日立商業高等学校 PTA
茨城県日立市久慈町6-20-1



祝 第73回全国高等学校
PTA 連合会大会茨城大会



茨城県立古河第三高等学校 PTA
〒306-0054 茨城県古河市中田新田 12-1
TEL 0280(48)2755 FAX 0280(48)5424
校訓 創造・敬愛・自立

明治安田

明治安田生命保険相互会社
水戸支店勝田営業所

〒312-0045 ひたちなか市勝田中央10-7
TEL 029-276-3666 FAX 029-276-3677
E-mail: mail-yokota@meijiyasuda.co.jp

大翔工業株式会社
Daisy Industries Co., Ltd

代表取締役 大山 剛

Tsuyoshi Oyama

〒311-0104 茨城県那珂市堤574-5
TEL 029-212-3151
FAX 029-298-5131
携帯電話 080-3559-5141
E-mail daisy@kougyou@kmf.biglobe.ne.jp

総合スポーツ用品店
有限会社 ナカムラスポーツ
土浦市中村西根1061 TEL029(843)5688
FAX029(843)5771

祝！第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会
自動販売機オペレーター
関東フーズサービス株式会社
〒323-0029 栃木県小山市梁2275-8
TEL0285-37-7042 FAX0285-37-7043



火曜日定休
9:00AM~3:00PM

石岡市柿岡 2357-2 ☎0299-43-6315

おみたまプリン



YAMANISHI GROUP

株式会社山西商店

〒311-3423 茨城県小美玉市小川1503-1

0120-972601 (平日8:30~17:30)

こだわりぬいた秘伝のダシを贅沢にたっぷりしみ込ませた、旨味いっぱい玉子焼きです。

昭和47年創業 茨城五霞名物

玉木の厚焼き玉子

五霞町大福田209-1 ☎0280-84-0105 全国発送対応



コバヤシ社会保険労務士事務所
社会保険労務士 小林 基伸

土浦市神立中央2-21-14 電話029-833-1737



地元とともに心はひとつ

結城信用金庫

茨城県結城市大字結城557
TEL 0296-32-2110

株式会社 齊田材木店

〒300-0812 茨城県土浦市下高津一丁目3-2

☎ 029-821-1657 Fax 029-824-5192



水戸信用金庫

〒310-0803 茨城県水戸市城南2丁目2番21号

☎ 029-222-3311 (代)



KOUZANGAMA

向山堂

株式会社 向山堂

茨城県笠間市笠間2290-4
☎ 0296-72-0194

伝統の技で継ぐ
上質なうつつわ
笠間の伝統を、今へ、この先へ



茨城県立国民宿舎
鶺鴒の山甲
UNOMISAKI



ヨシモト車輜



工場 〒313-0004 常陸太田市馬場町365-12

TEL・FAX 0294-80-3777



芳醇清酒

愛友酒造株式会社
あいゆうしゅぞう



名物!【メープルの切株】大会記念限定マロン、Wメープル登場!



アダストリア・アリーナ
ザ・ヒロサワ・シティ会館
にて数量限定販売予定!

konakuri.com



(順不同)

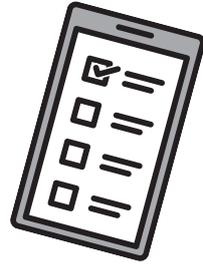
御 礼

第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会の開催にあたり、
協賛金をお寄せいただきました企業様、団体様に心よりお礼を
申し上げます。

誠にありがとうございました。

茨城県高等学校PTA連合会

茨城大会についてのアンケートにご協力ください。



一般社団法人 全国高等学校PTA 連合会事務局

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-1 奥田ビル301号
TEL **03-5835-5711** FAX **03-5835-5757**

茨城大会実行委員会事務局

茨城県高等学校PTA 連合会

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎3F
TEL **029-221-1448** FAX **029-231-1660**

印刷・製本／株式会社光和印刷

〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1823-22
TEL 029-247-4362 FAX 029-247-9584

NEXT

おいないなあ 三重県！

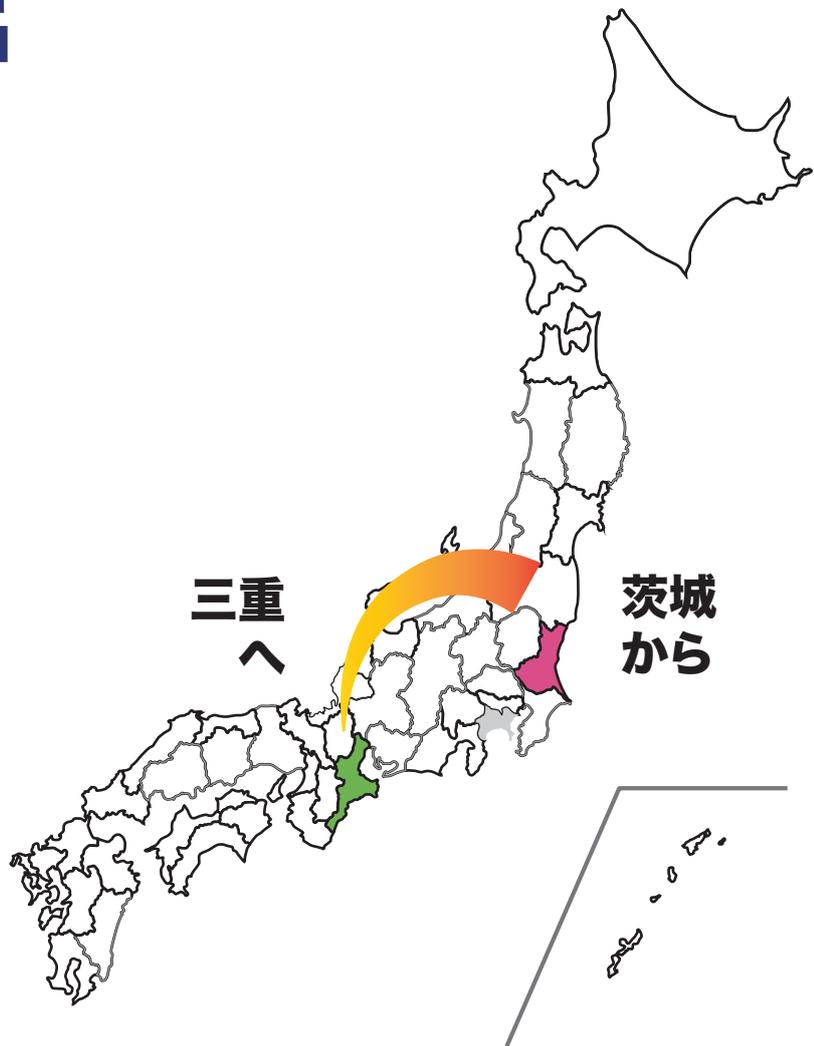


津城（津市）

横山展望台（志摩市）

三重県の観光情報はこちら！

観光三重



2025 8月21日(木)▷8月22日(金)

サオリーナ / メッセウイング・みえ

